

**Pioneer**

コンパクトミニコンポーネント

**X-NT9MD**  
**X-NT7MD**  
**APX-N901**  
**APX-N701**  
**X-NT9**  
**X-NT7**

取扱説明書



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。  
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 安全上のご注意

（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）



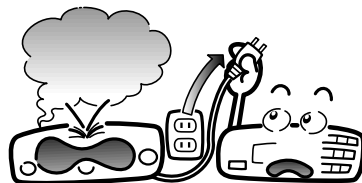
**警告**

### 〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



# もくじ

準備	安全上のご注意 .....	2
	本製品の主な特徴 .....	4
	付属品の確認 .....	4
基本操作	設置のしかた .....	5
	接続のしかた .....	6
	リモコンに電池を入れる .....	15
	各部のなまえ .....	16
	MD、CD、テープの取扱いがた .....	20
	時計を合わせる .....	22
	電源を入れる / 演奏する .....	23
	音量を調整する / 音質を変える .....	24
	ラジオ放送を聞く .....	25
	CD を聞く .....	27
MD 編集	MD を聞く .....	29
	MD に録音する前にお読みください .....	33
	MD に録音する .....	37
	MD 編集機能の使いがた .....	44
	編集メニューについて .....	44
	編集メニューの選択 .....	45
	1 つの曲を 2 つに分ける .....	46
	2 つの曲を 1 つにつなぐ .....	47
	曲の途中をつなぐには .....	48
	曲を移動する .....	49
曲を並べかえる .....	49	
曲を消す .....	50	
曲の途中から途中までを消す .....	51	
曲やディスクに名前をつける .....	52	
あらかじめ用意された名前をつける .....	54	
編集をキャンセルして編集前の状態に戻す ...	57	
ネームリスト一覧 .....	58	




応用操作	自動編集録音 (A.S.E.S.) のしかた .....	60
	操作のしかた .....	61
	ASES ERROR の表示が出たときは .....	62
	REC TIME ERROR の表示が出たときは .....	62
	タイマーの使いがた .....	63
	好きな音楽で目覚める .....	63
	ラジオ放送または外部入力を 留守録音する .....	64
	日ごろのお手入れ .....	67
	アフターサービス .....	67
	故障? ちょっと調べてください .....	68
その他	仕様 .....	70
	デモ表示について .....	裏表紙

この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。	
ステレオアンプ	A-N901 A-N701
ステレオCDチューナー	PD-N901
スピーカーシステム	S-N701-LR S-N901-LR
ミニディスクレコーダー	MJ-N901

### 高調波ガイドライン適合品

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輦、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

### 説明中のマークについて

-  故障かな? — 操作中におかしいなと思ったときに読んでみてください。
-  これは便利 — 本文で説明していない便利な情報です。
-  ポイント — 知っておくと操作がスムーズになります。

準備

基本操作

MD 編集

応用操作

その他

# 特長

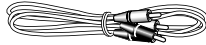
- 1 **ダイレクトエナジー MOS FET を採用!** (A-N901、A-N701)  
エネルギーロスが非常に少ないダイレクトエナジーMOS FETの採用により、広い帯域に渡ってミュージックソースを忠実に、より自然に再現します。
- 2 **レガート・リンク・コンバージョンを搭載!** (PD-N901、MJ-N901、別売T-N901)  
CD、MDなどのフォーマットでは、カットされている20kHz以上の音楽成分を可聴帯域内の信号と1/f特性から推定して再現することで、楽器本来の豊かで自然な音色を実現します。
- 3 **ARTIST-SYSTEM を搭載!** (MJ-N901)  
ARTIST(Advanced Real Time Signal Tuning)-SYSTEMは、リアルタイムに入力信号の周波数分析を行い、分割された各帯域に対してそれぞれに適したマスキング特性を選択し、より原音に忠実な高音質録音を実現しています。
- 4 **省エネルギー設計製品**  
本製品は電源オフ時(スタンバイ時)の消費電力を抑えた設計となっております。  
(スタンバイ時消費電力値は70ページの仕様欄を参照ください。)

## 付属品の確認 (下記の付属品がそろっていることを確認してください。)

リモコン × 1

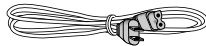


ピンプラグ付接続コード



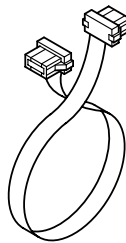
- \* X-NT9MD、X-NT7MD × 4
- X-NT9、X-NT7 × 2
- APX-N901、APX-N701 × 2

電源コード



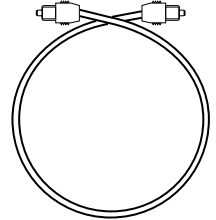
- \* X-NT9MD、X-NT7MD × 3
- X-NT9、X-NT7 × 2
- APX-N901、APX-N701 × 2

システム接続コード



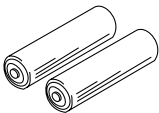
- \* X-NT9MD、X-NT7MD × 2
- X-NT9、X-NT7 × 1
- APX-N901、APX-N701 × 1

光ファイバーケーブル × 1



- \* X-NT7MD、X-NT9MD  
のみに付属

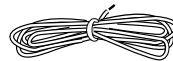
単 3 形乾電池 × 2  
(R6P)



AM ループアンテナ × 1  
(図は組み立てた状態です。)

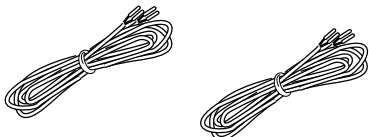


FM アンテナ × 1

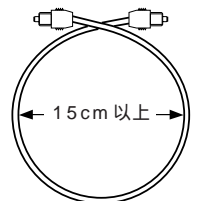


取扱説明書  
ご相談窓口・修理窓口のご案内  
保証書  
安全上のご注意

スピーカーコード  
\*(スピーカーに付属) × 2



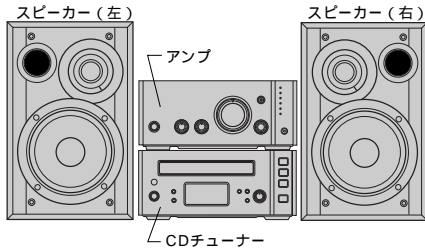
光ファイバーケーブル取り扱い上の注意  
光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が15cm以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。



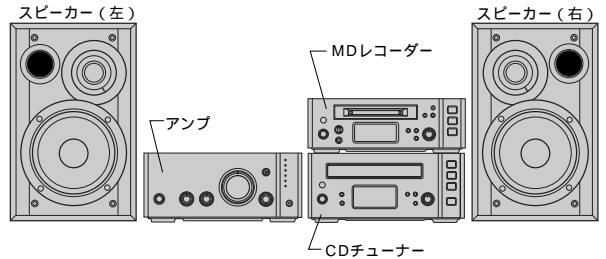
# 設置のしかた

システムの性能を十分に引き出すため、下記のように設置してください。

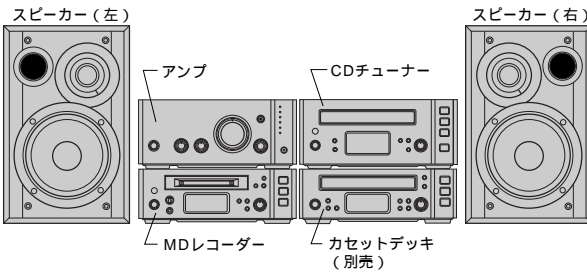
[アンプ、CDチューナーの組み合わせ]



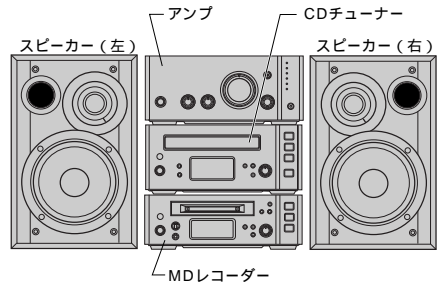
[MDレコーダーを追加したとき]



[別売のカセットデッキを追加したとき]



[縦置きにしたとき]

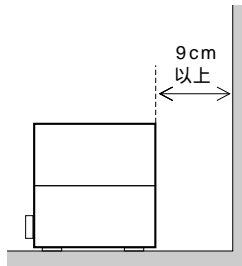


\* アンプを必ず一番上に設置してください。

図はX-NT7、X-NT7MD、T-N901(別売)です。

## 注意

- 機器の天面の放熱孔はふさがないように設置してください。放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、性能不良および故障の原因となります。  
壁からは下図の距離だけ離してください。
- 毛足の長い敷物やじゅうたん、ベッド、ソファなどの上に設置したり、布などをかけないでください。  
通風が妨げられて本機の内部が発熱し、故障や火災の原因になります。



光ファイバーケーブルが折れ  
曲らないようご注意ください。

## スピーカーシステムについて

スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- このスピーカーシステムは防磁設計(EIAJ)ですのでテレビと組合せても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。

\* 「防磁設計(EIAJ)」とは(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

# 接続のしかた

## 本機を使う前に次の手順で正しく接続してください。

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- アンテナは必ず接続してください。(アンテナを接続しないと放送が受信できません。)
- 設置のしかたについては5ページをご覧ください。

機器の組み合わせによって接続のしかたが異なります。

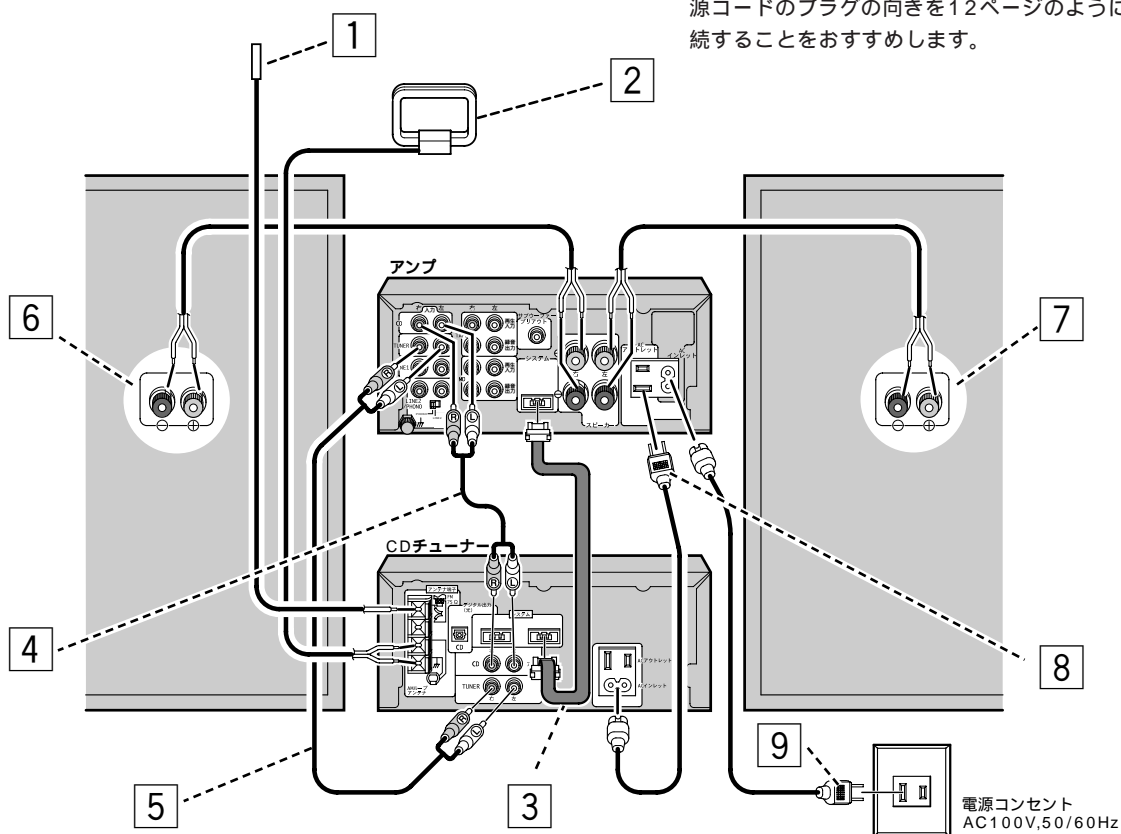
- アンプ、CDチューナーの組み合わせ(下記)
- アンプ、CDチューナー、MDレコーダーの組み合わせ(8ページ)
- アンプ、CDチューナー、MDレコーダー、カセットデッキの組み合わせ(10ページ)

### アンプ、CDチューナーの組み合わせ

図はX-NT9、APX-N901です。

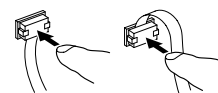


電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

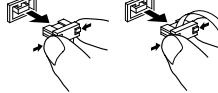


#### システム接続コードのつなぎかた

図のようにプラグの凹部を上にして差し込んでください。

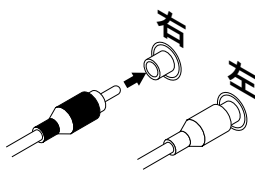


差し込むとき  
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。



はずすとき  
両側から押して引っぱってください。

#### ピンプラグ付接続コードのつなぎかた



白いプラグは(左)、赤いプラグは(右)側につなぎます。

必ず奥まで差し込んでください。

**注意!!**

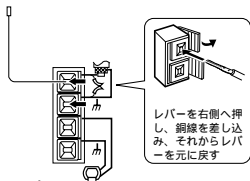
システムを正しく動作させるために、システム接続コードとピンプラグ付接続コードは、上記にしたがって正しく接続してください。

1 2

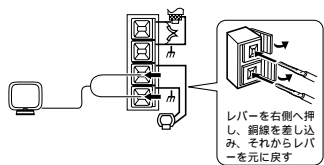
## FM、AM アンテナをつなぐ



(FM アンテナ)

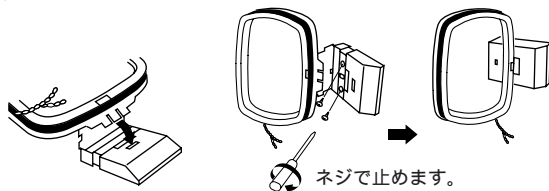


(AM アンテナ)



組立てかた

壁などに取り付ける場合



ネジで止めます。

3

## CD チューナーとアンプをシステム接続コードでつなぐ

4 5

## CD チューナーとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

**注意**

電源プラグをコンセントに接続した状態で、システム接続コードを抜き差しすることは、絶対にやめてください。故障の原因となることがあります。

6 7

## スピーカーコードをつなぐ



コードと端子のプラスとマイナスを合わせて接続してください。  
(コードの被覆に PIONEER の白い文字が入っているほうが ⊕、文字が入っていないほうが ⊖ になります。)

きちんと接続されているかどうかコードを軽く引っばって確かめましょう。

8

## CD チューナーの電源コードをアンプのコンセントへ差し込む

9

## アンプの電源コードを壁のコンセントへ差し込む

初めて電源コードをコンセントにつないだ時は表示が点灯し、デモ表示になります。詳しくは裏表紙の「デモ表示について」をご覧ください。

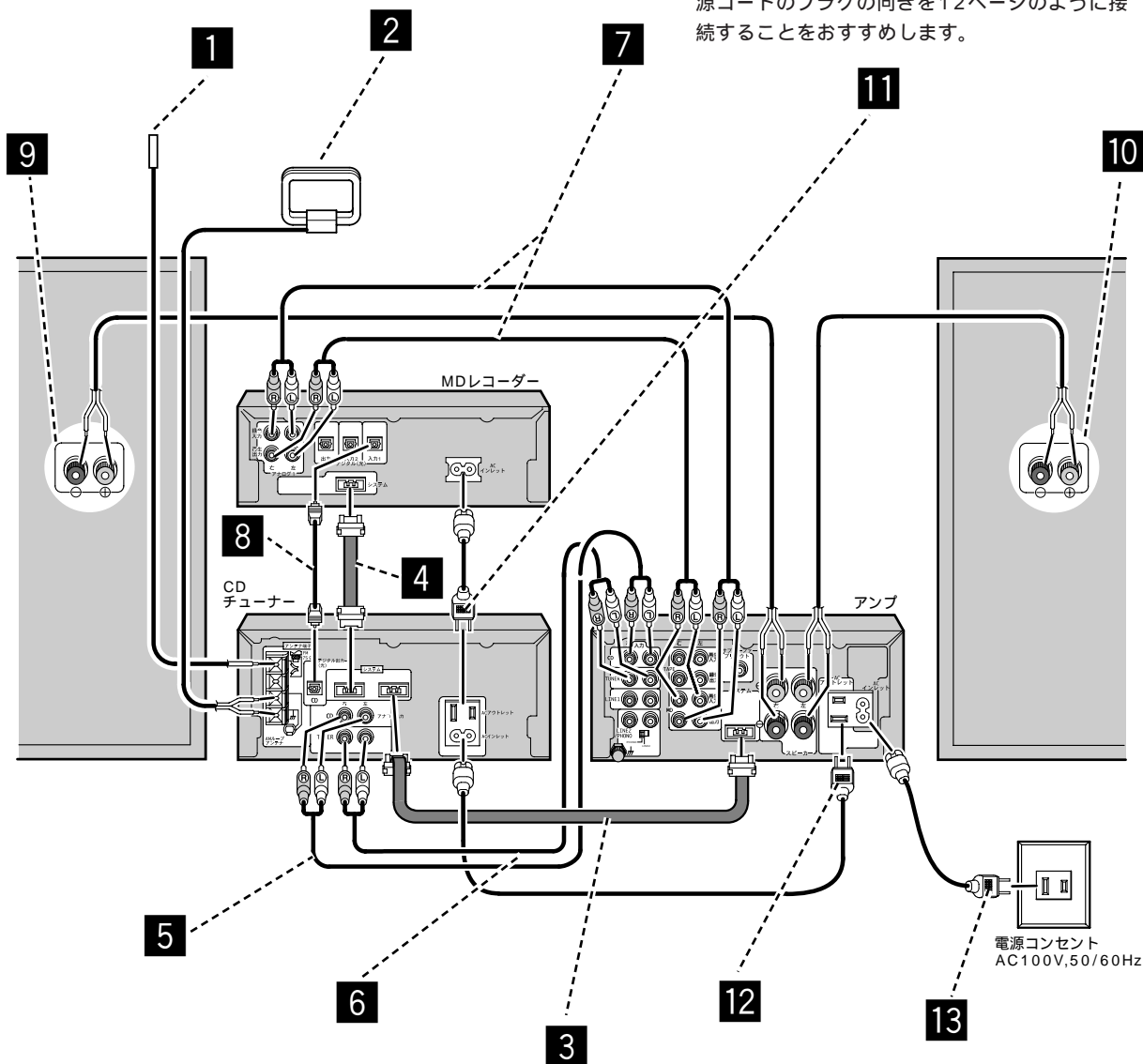
システムを動作させるために、アンプの電源コードのみを壁コンセントに差し込んでください。他の機器の電源コードは必ずリアパネルのコンセントへ差し込んでください。

## アンプ、CDチューナー、MDレコーダーの組み合わせ

図は X-NT9MD です。

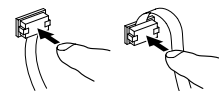


電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

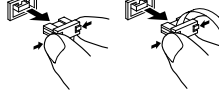


### システム接続コードのつなぎかた

図のようにプラグの凹部を上にして差し込んでください。

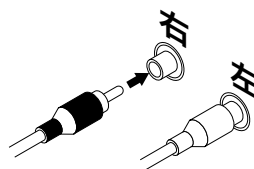


差し込むとき  
カチッと言音が出るまで確実に差し込んでください。



はずすとき  
両側から押して引っぱってください。

### ピンプラグ付接続コードのつなぎかた



白いプラグは(左)、赤いプラグは(右)側につなぎます。

必ず奥まで差し込んでください。

**注意!!**

システムを正しく動作させるために、システム接続コードとピンプラグ付接続コードは、上記にしたがって正しく接続してください。

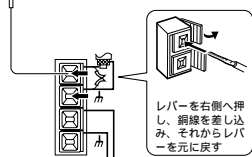


**1 2**

FM、AM アンテナをつなぐ

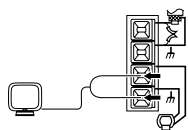


(FM アンテナ)



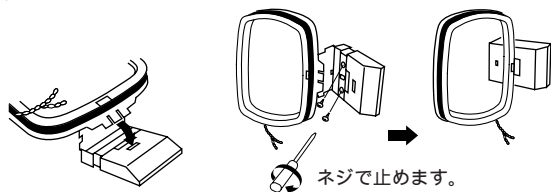
レバーを右側へ押し、銅線を差し込み、それからレバーを元に戻す

(AM アンテナ)



レバーを右側へ押し、銅線を差し込み、それからレバーを元に戻す

組立てかた



壁などに取り付ける場合

ネジで止めます。

**3**

CD チューナーとアンプをシステム接続コードでつなぐ

**4**

MD レコーダーと CD チューナーをシステム接続コードでつなぐ

**5 6**

CD チューナーとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

**7**

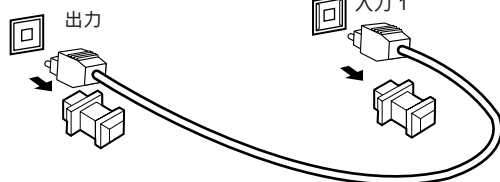
MD レコーダーとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

**8**

CD チューナーと MD レコーダーの光デジタル端子の入力 1 を付属の光ファイバーケーブルでつなぐ

CD チューナー

MD レコーダー



光デジタル端子の防塵キャップを引き抜きます。光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。

**9 10**

スピーカーコードをつなぐ



コードと端子のプラスとマイナスを合わせて接続してください。(コードの被覆に PIONEER の白い文字が入っているほうが ⊕、文字が入っていないほうが ⊖ になります。)

きちんと接続されているかどうかコードを軽く引っばって確かめましょう。

**11**

CD チューナーの電源コードをアンプのコンセントへ差し込む

**12**

MD レコーダーの電源コードを CD チューナーのコンセントへ差し込む

**13**

アンプの電源コードを壁のコンセントへ差し込む

初めて電源コードをコンセントにつないだ時は表示が点灯し、デモ表示になります。詳しくは裏表紙の「デモ表示について」をご覧ください。

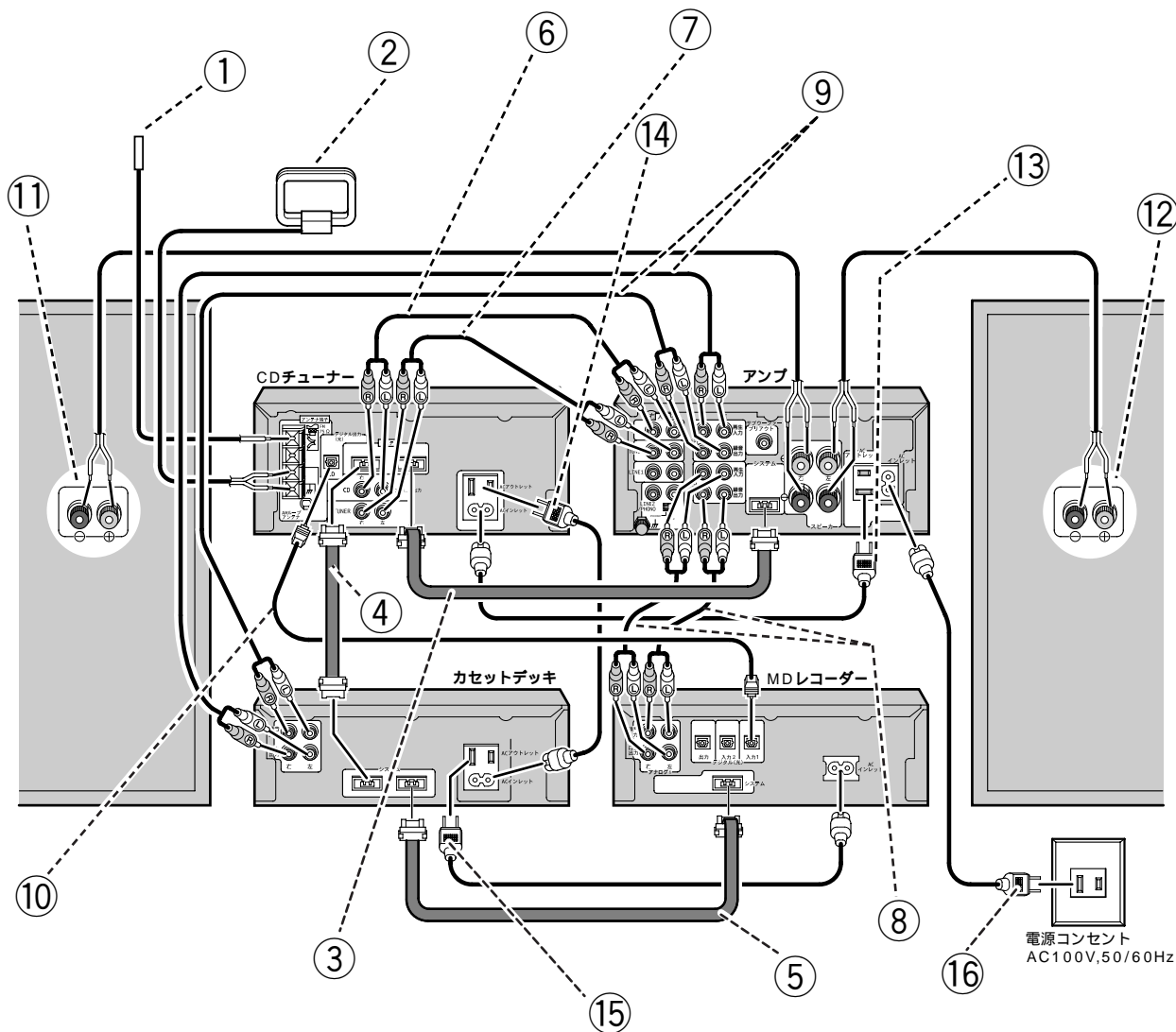
システムを動作させるために、アンプの電源コードのみを壁コンセントに差し込んでください。他の機器の電源コードは必ずリアパネルのコンセントへ差し込んでください。

## アンプ、CDチューナー、MDレコーダー、カセットデッキ（別売）の組み合わせ

図は X-NT9MD + T-N901（別売）です。

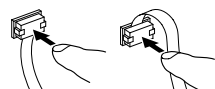


電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

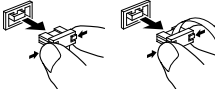


### システム接続コードのつなぎかた

図のようにプラグの凹部を上にして差し込んでください。

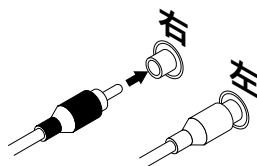


差し込むとき  
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。



はずすとき  
両側から押して引っぱってください。

### ピンプラグ付接続コードのつなぎかた



白いプラグは(左)、赤いプラグは(右)側につなぎます。

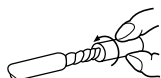
必ず奥まで差し込んでください。



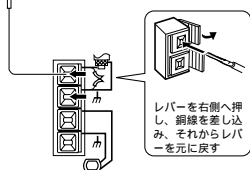
システムを正しく動作させるために、システム接続コードとピンプラグ付接続コードは、上記にしたがって正しく接続してください。

① ②

FM、AM アンテナをつなぐ

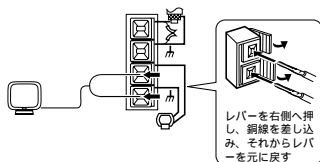


(FM アンテナ)



レバーを右側へ押し、銅線を差し込み、それからレバーを元に戻す

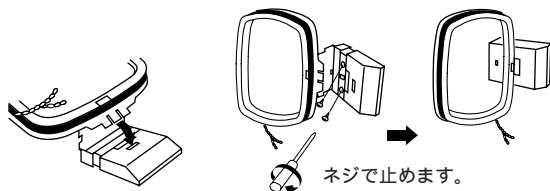
(AM アンテナ)



レバーを右側へ押し、銅線を差し込み、それからレバーを元に戻す

組立てかた

壁などに取り付ける場合



ネジで止めます。

⑥ ⑦

CD チューナーとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

⑧

MD レコーダーとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

⑨

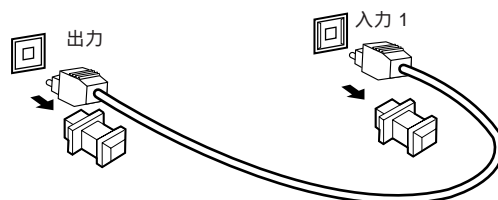
カセットデッキとアンプをピンプラグ付接続コードでつなぐ

⑩

CD チューナーと MD レコーダーの光デジタル端子の入力 1 を付属の光ファイバーケーブルでつなぐ

CD チューナー

MD レコーダー



光デジタル端子の防塵キャップを引き抜きます。  
光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。

③

CD チューナーとアンプをシステム接続コードでつなぐ

④

カセットデッキと CD チューナーをシステム接続コードでつなぐ

⑤

MD レコーダーとカセットデッキをシステム接続コードでつなぐ

⑪ ⑫

スピーカーコードをつなぐ



コードと端子のプラスとマイナスを合わせて接続してください。  
(コードの被覆に PIONEER の白い文字が入っているほうが ⊕、文字が入っていないほうが ⊖ になります。)

きちんと接続されているかどうかコードを軽く引っばって確かめましょう。

**注意**

電源プラグをコンセントに接続した状態で、システム接続コードを抜き差しすることは、絶対にやめてください。故障の原因となることがあります。

## 13

CD チューナーの電源コードをアンプのコンセントへ差し込む

## 14

カセットデッキの電源コードを CD チューナーのコンセントへ差し込む

## 15

MD レコーダーの電源コードをカセットデッキのコンセントへ差し込む

## 16

アンプの電源コードを壁のコンセントへ差し込む

初めて電源コードをコンセントにつないだ時は表示が点灯し、デモ表示になります。詳しくは裏表紙の「デモ表示について」をご覧ください。

システムを動作させるために、アンプの電源コードのみを壁コンセントに差し込んでください。他の機器の電源コードは必ずリアパネルのコンセントへ差し込んでください。

## スピーカーのグリルの着脱のしかた

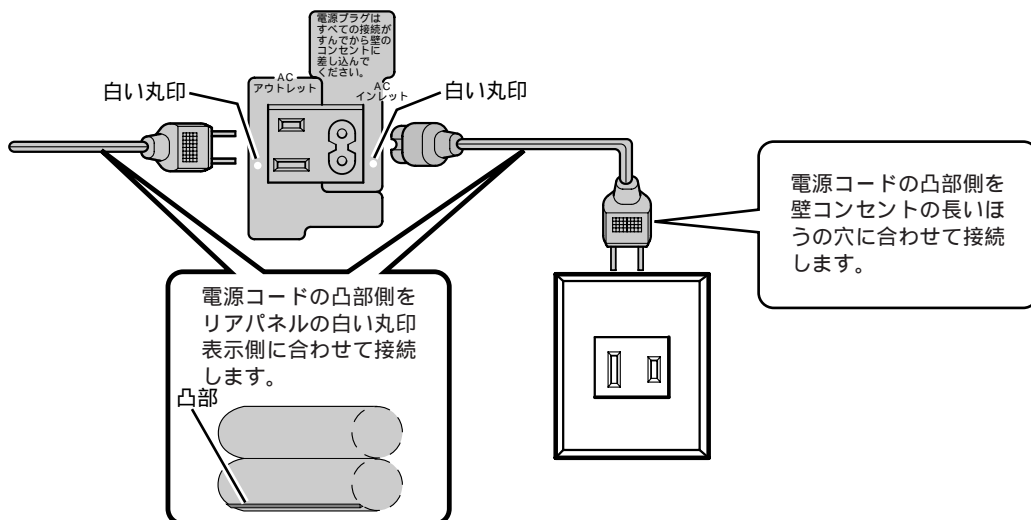
このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリルの上側を手前に引っぱるとグリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルの4隅にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

幼児にいたずらされないよう、グリルははずしたままにしないでください。

## 電源極性について

よりよい音質でご使用いただくために、電源コードのプラグの向きを下記のように接続することをおすすめします。



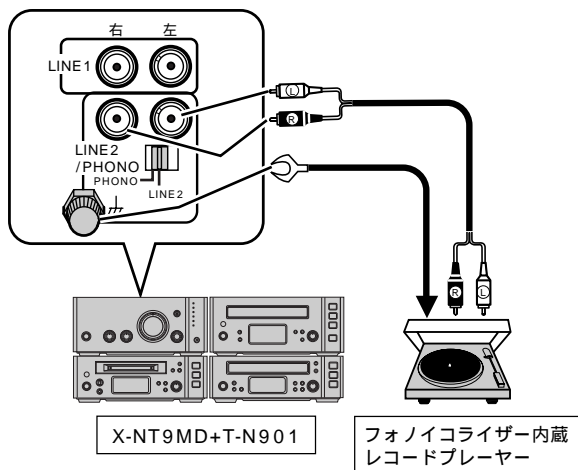
## 注意!!

- 図はアンプの電源コンセントにて説明しています。
- 電源コードの拡大図の凸部とコードの色は、説明上色を変えてあります。付属している電源コードは黒一色です。

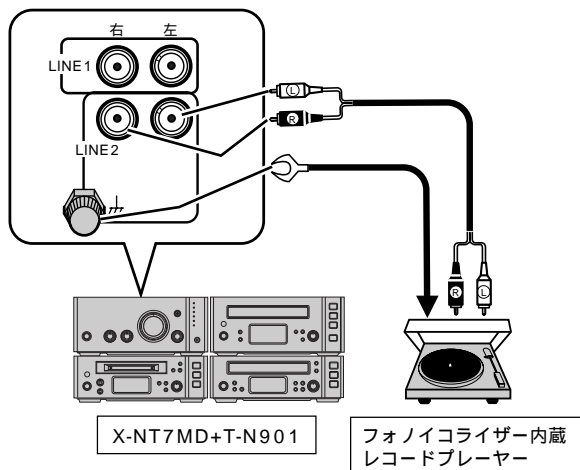
# 接続のしかた

## レコードプレーヤーを接続するとき

- X-NT9MD、X-NT9、APX-N901にフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーを接続する  
LINE1 または LINE2/PHONO 入力端子に接続してください。LINE2/PHONO 入力端子に接続した場合には、リアパネルの切換スイッチを LINE2 側にセットしてください。

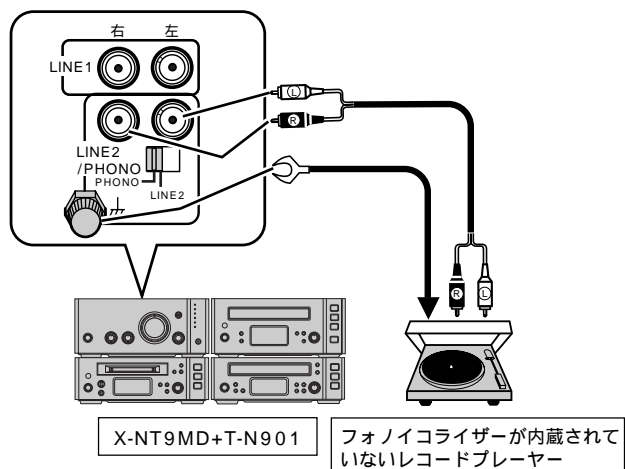


- X-NT7MD、X-NT7、APX-N701にレコードプレーヤーを接続する  
フォノイコライザー内蔵のものを LINE1 または LINE2/PHONO 入力端子に接続してください。(フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは接続できません。)



**注意!!** 本機のアース端子は、レコードプレーヤー等を接続した場合の雑音を低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

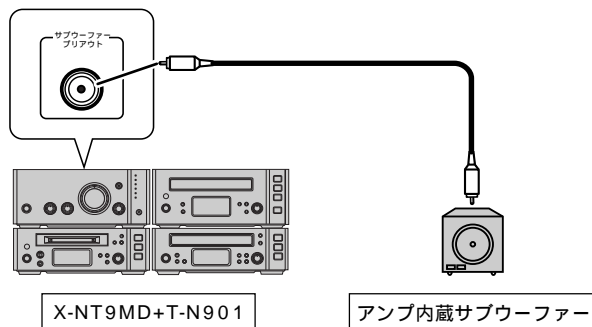
- X-NT9MD、X-NT9、APX-N901にフォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーを接続する  
LINE2/PHONO 入力端子に接続し、リアパネルの切換スイッチを PHONO 側にセットしてください。



## スーパーウーファーを接続するとき

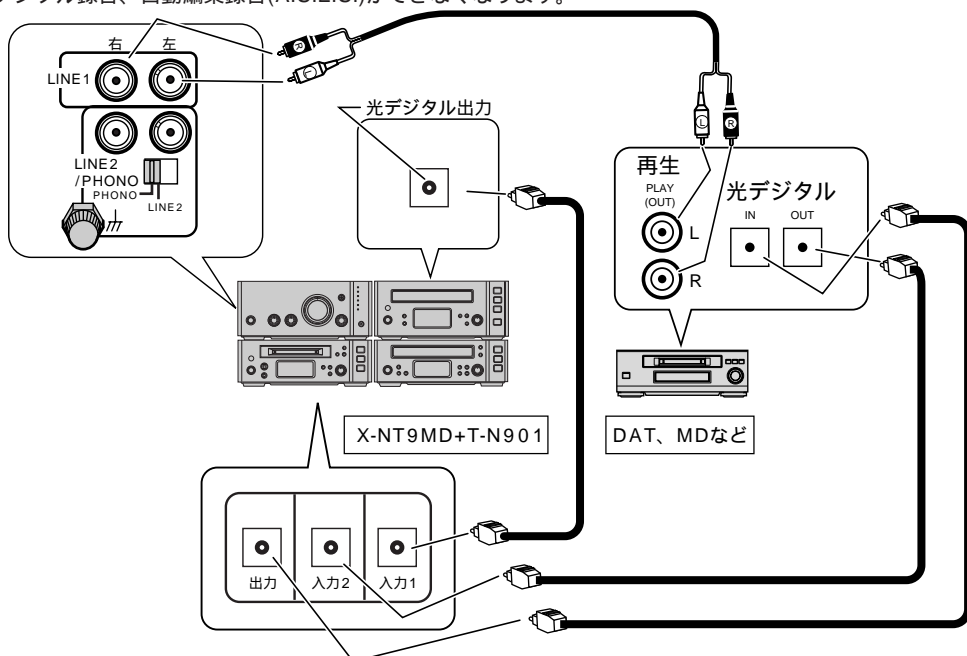
(X-NT9MD、X-NT9、APX-N901)

- スーパーウーファーなどを接続する場合は、オーディオ用ピンコードを使用して、サブウーファープリアウト端子に接続してください。
- スーパーウーファーに内蔵アンプがない場合には、専用アンプを接続し、スピーカーを接続してください。
- サブウーファープリアウト端子には、左と右の信号が混合されたモノラル信号が出力されます。



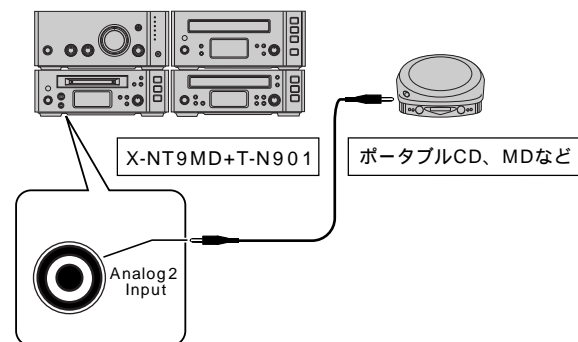
## MJ-N901 以外の MD レコーダーを接続するとき

- 外部機器の光デジタル出力から、MD レコーダーの光デジタル入力 of “入力 2” へ接続する場合は、外部機器アナログ出力も LINE1 または LINE2/PHONO 入力端子に接続してください。デジタル接続だけでは音はできません。(ただし、入力切換を MD に合わせ、“Rec Pause (P192)” または “Rec (P193)” で動作させると、デジタル接続だけで音が出ます。)
- MD の光デジタル入力の “入力 2” へは CD チューナー (PD-N901) の光デジタル出力は接続しないでください。自動入力切換、デジタル録音、自動編集録音 (A.S.E.S.) ができなくなります。



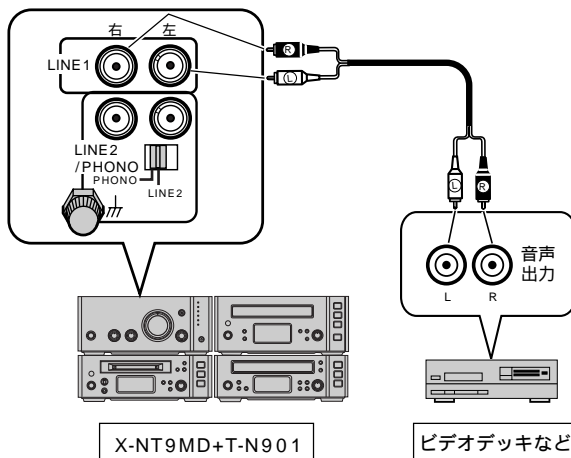
## ポータブルCD、ポータブルMDなどを接続するとき

- ポータブルCDやポータブルMDなどのアナログ出力と接続して、録音をすることができます。
- 接続する場合は、ステレオミニケーブルを使用して、MD レコーダー前面のアナログ2インプットジャック (Analog Input2) に接続してください。



## ビデオデッキなどを接続するとき

- ビデオデッキなどを接続する場合は、オーディオ用ピンコードを使用して、LINE1、LINE2、またはLINE2/PHONO 入力端子に接続してください。LINE2/PHONO 入力端子に接続した場合には、リアパネルの切換スイッチをLINE2側にセットしてください。



## 接続のしかた

### 接続に関するご注意

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(ア)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AMループアンテナ：

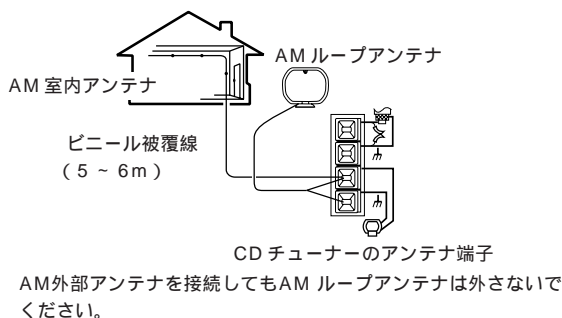
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

- AM外部アンテナ、市販のFM屋外アンテナを接続します。

AM外部アンテナの接続

下図のように接続してください。

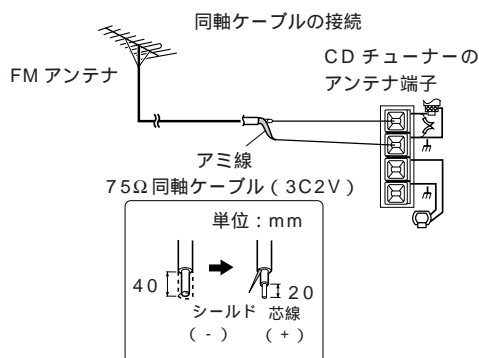


FMアンテナ：

- 付属のFMアンテナは、たらしおいたり、丸めたままにしないで伸ばして、最も良い受信状態が得られるように張ってください。
- 付属のFMアンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには専用アンテナを使用してください。

FM屋外アンテナの接続

下図のように接続してください。



スピーカーの接続について

- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障とか、ごくまれに発煙、発火の可能性があります。

電源コードの接続について

- アンプの電源プラグは必ず壁のコンセントへ差し込んでください。

## リモコンに電池を入れる

電池は単3形(R6P)を入れてください。

電池の入れ方

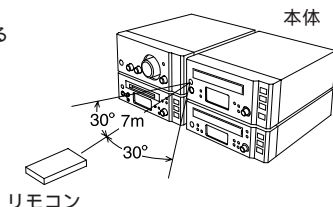
2 ⊕ ⊖ 正しく電池を入れる

1 ふたを開ける

3 ふたを閉める

リモコン操作範囲

- リモコン前部をCDチューナーのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。



直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯を離してください。

### ⚠注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池の注意事項もよく見てください。)

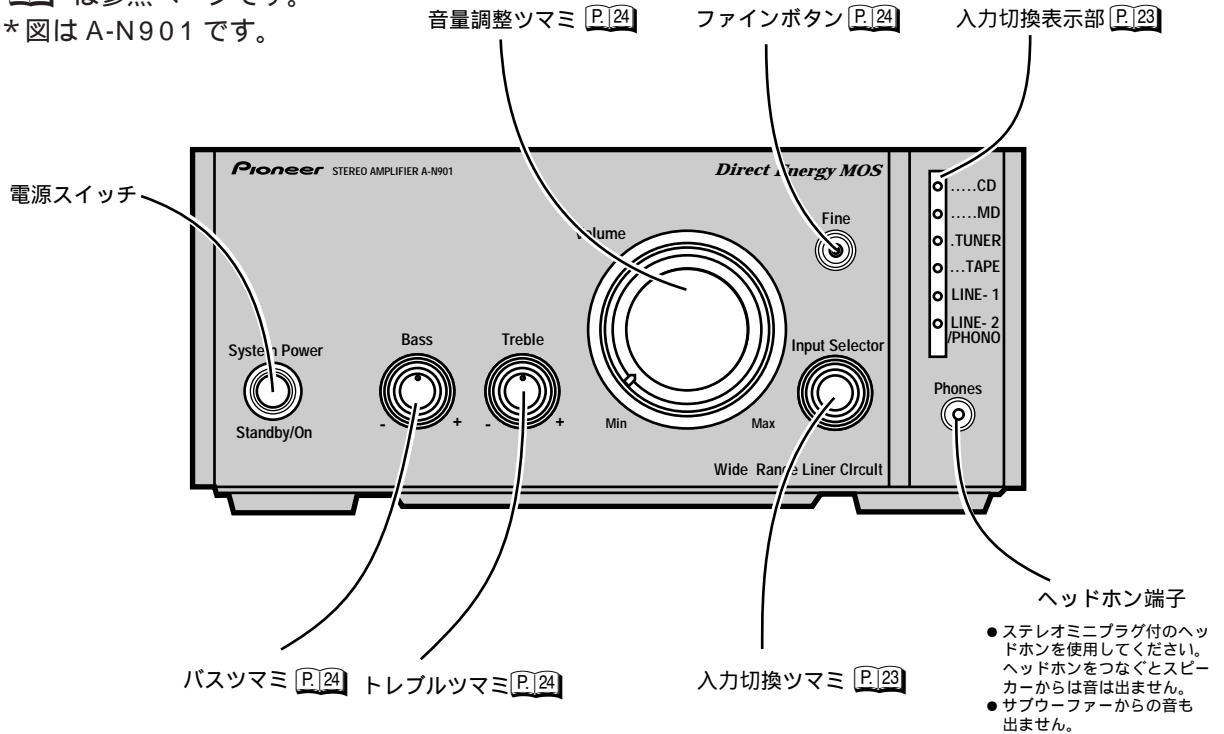
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1か月以上)使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。



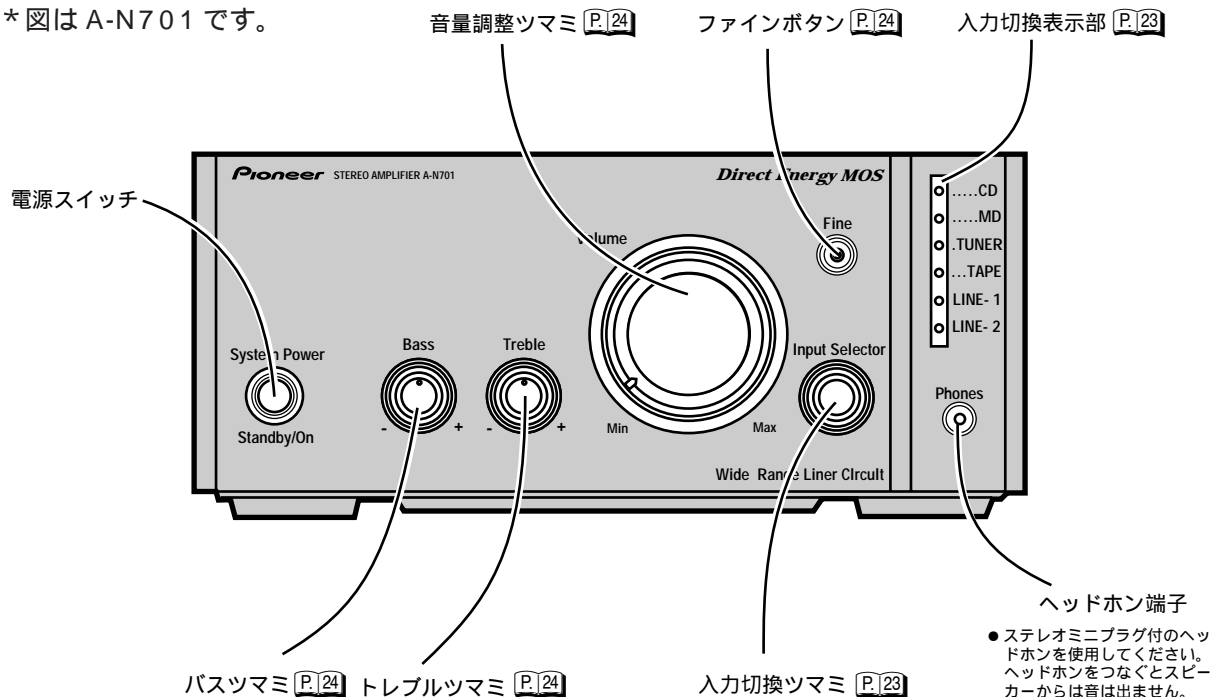
# 各部のなまえ

## ステレオアンプ

 は参照ページです。  
\* 図は A-N901 です。



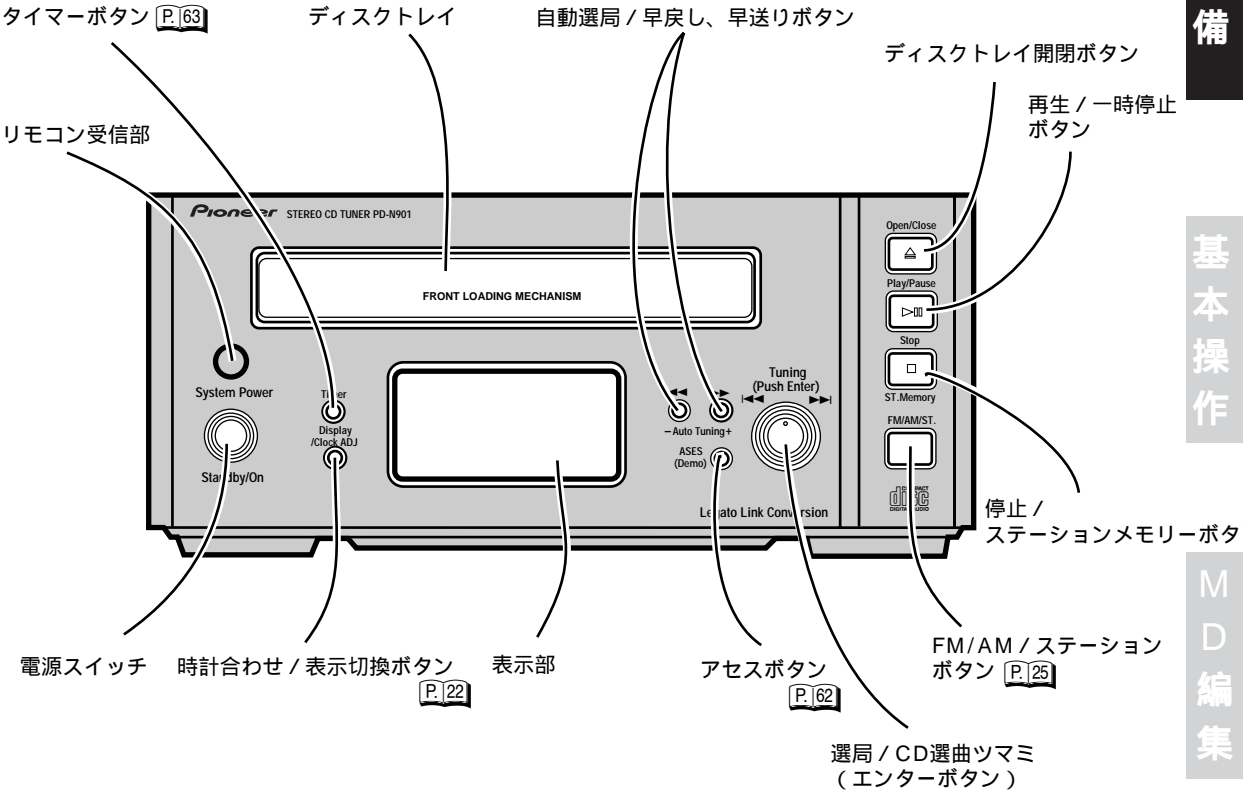
\* 図は A-N701 です。



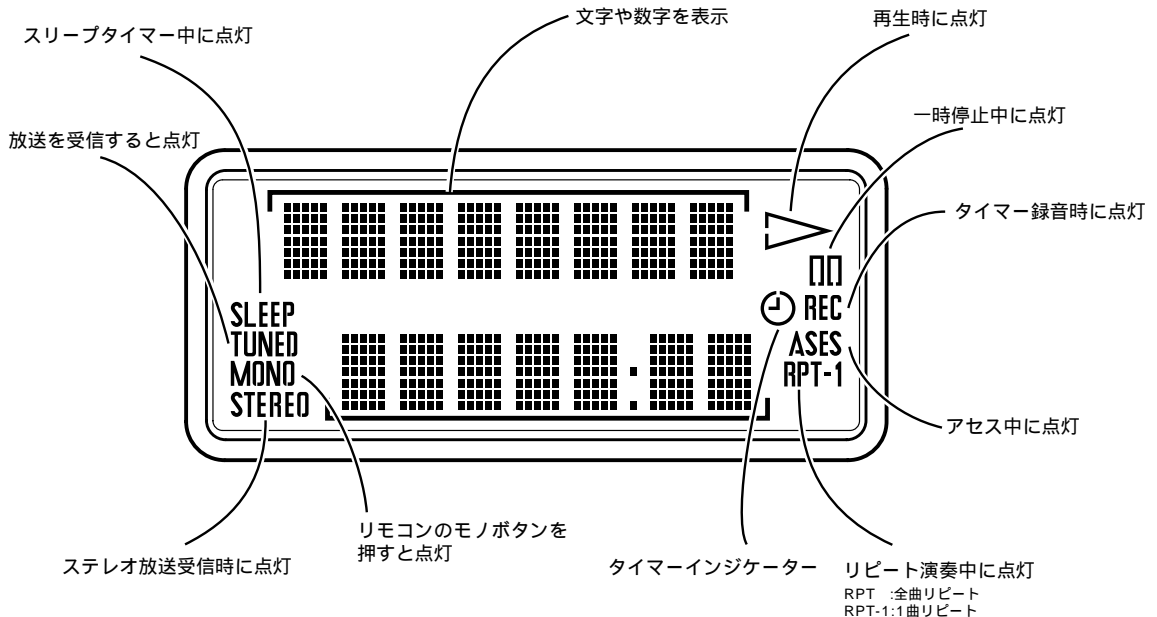


# ステレオCDチューナー

\* 図はPD-N901です。

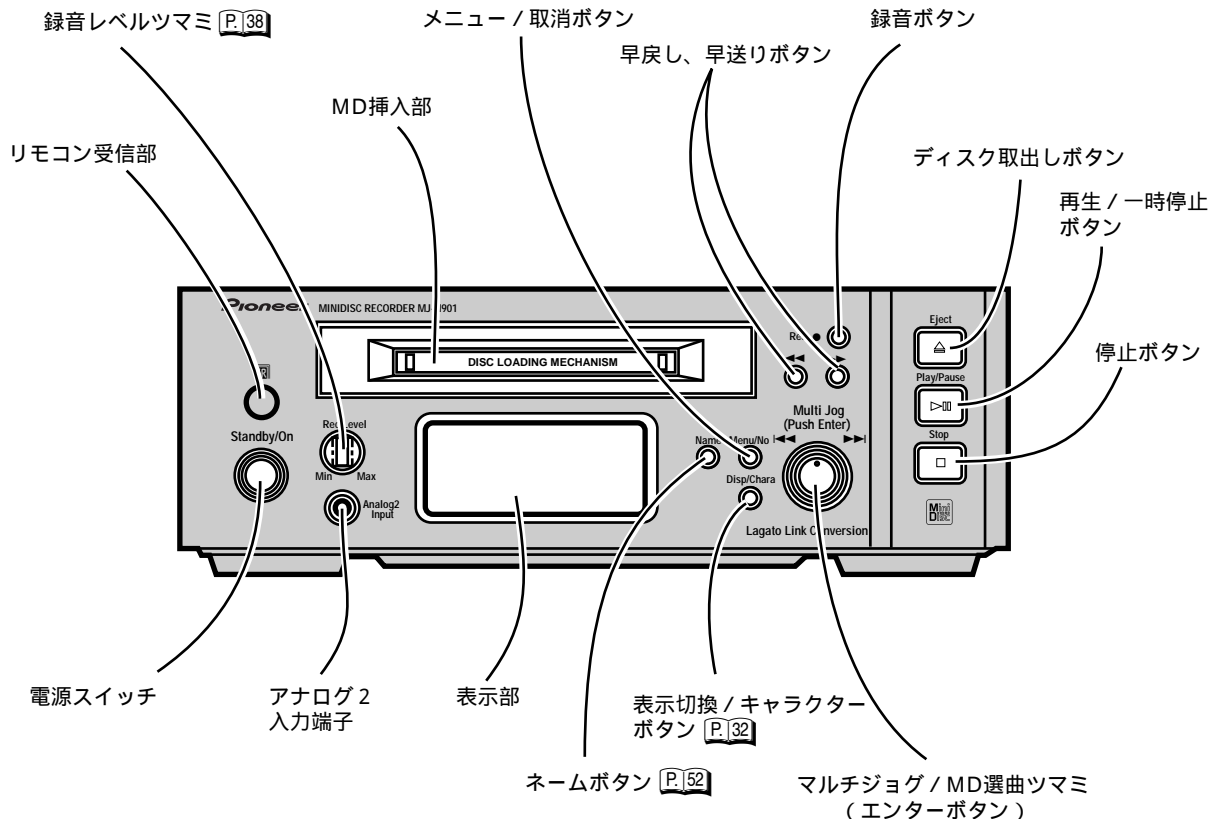


## (表示部)

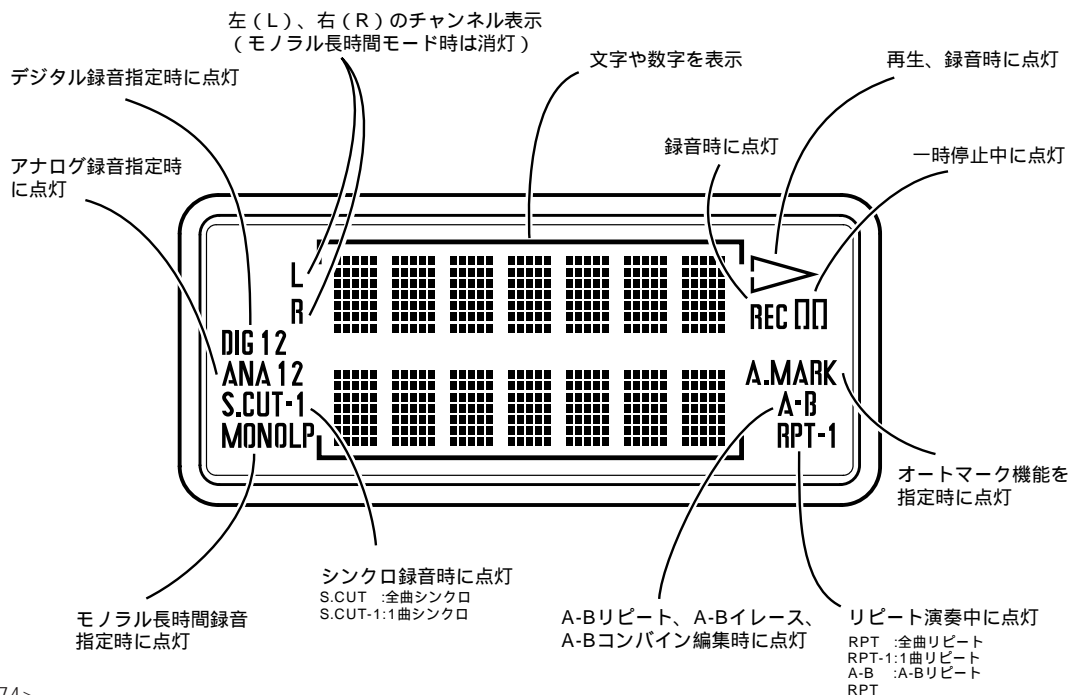


# ミニディスクレコーダー (X-NT9、X-NT7、APX-N901、APX-N701 は別売)

\* 図は MJ-N901 です。

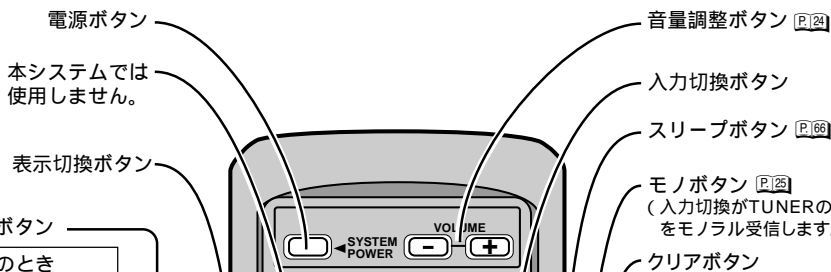


## (表示部)



# リモコン

\* MDのメニューおよびネーム操作中は、入力切換に関係なく、MDのキーとして使用できます。



## 数字、文字ボタン

### 入力切換がTUNERのとき

メモリーしている放送局を呼び出します。  
 ステーション1~10 : 1~10 / 0  
 ステーション11~30 : >10と1~10  
 ボタンで呼び出します。

### 入力切換がCDのとき

数字ボタン1~9、0となります。  
 >10は11以上の数字入力に使用します。

### 入力切換がMDのとき

数字ボタン1~9、0となります。  
 >10は11以上の数字入力に使用します。  
 文字ボタンA~Z、a~z、A~、a~、  
 となります。

### 入力切換がTUNERのとき

PGM, REPEAT, RANDOMは使用しません。

### 入力切換がCDのとき

PGM : プログラムの設定  
 REPEAT : リピート演奏  
 RANDOM : ランダム演奏

### 入力切換がMDのとき

PGM : プログラムの設定  
 REPEAT : リピート演奏  
 RANDOM : ランダム演奏

## 音量調整ボタン [P.24]

## 入力切換ボタン

## スリープボタン [P.66]

## モノボタン [P.28]

(入力切換がTUNERのときFM放送をモノラル受信します。)

## クリアボタン

### 入力切換がCDのとき

▶|| (◀▶) : 再生 / 一時停止  
 ■ : 停止  
 ◀▶ : 選曲  
 ◀▶▶ : 早戻し、早送り

### 入力切換がMDのとき

▶|| : 再生 / 一時停止  
 ■ : 停止  
 ◀▶▶ : 選曲  
 ◀▶▶▶ : 早戻し、早送り

### 入力切換がTAPEのとき

▶|| : 再生 / 一時停止  
 ■ : 停止  
 ◀▶▶▶ : 頭出し選曲  
 ◀▶▶▶▶ : 巻き戻し、早送り

### 入力切換がTUNERのとき

◀▶▶▶▶ : 放送局の選択  
 ◀▶▶▶▶▶ : 周波数を下げる、上げる

## MD操作ボタン

DISP/CHARA : 表示切換 / 文字種類切換  
 NAME : ネーム操作  
 MENU/NO : メニュー / 取消操作  
 ENTER : 確定  
 DIG/ANA : デジタル / アナログ切換  
 REC MODE : ステレオ / モノの切換  
 A.MARK : オートマーカのオン / オフ  
 A-B : A点、B点の設定  
 SYNCHRO REC : シンクロ録音操作

# MD、CD の取扱いかた

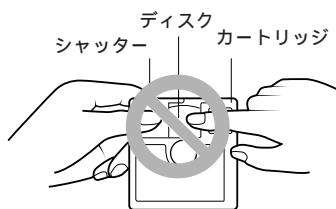
## MD の取扱いかた

右記マークのディスクをお使いください。



### 注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



### 保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

### カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

### ラベルの貼付けについて

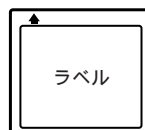
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

## MD の種類について

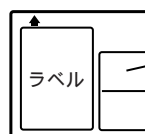
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）



シャッターが裏面にあります。

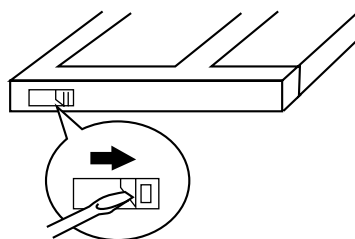
- 録音・再生用 MD



シャッターが両面にあります。

## 録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



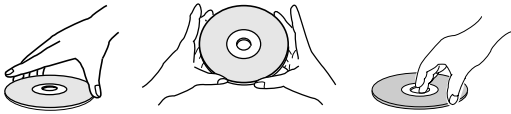
## CD の取扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。  
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



### ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。



### 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

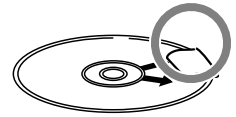


### ディスクのお手入れ

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。



円周に沿って拭かない



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。



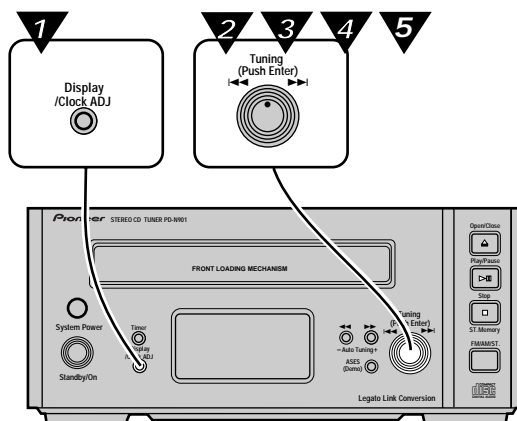
## 注意

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

# 時計を合わせる

- 電源オフ(スタンバイ)で行います。
- 24 時間表示です。
- 時計合せをしていないとタイマーが使えません。

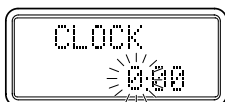


(例) 午後 6 時 40 分(18:40)に合わせる場合

1

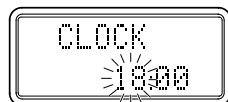
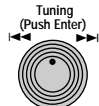
時計合せ / 表示切換ボタン(Display / Clock ADJ)を約 3 秒間押す

Display /Clock ADJ



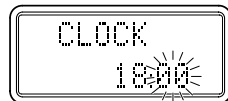
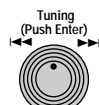
2

選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して"時"を合わせる



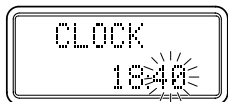
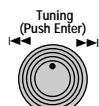
3

選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す



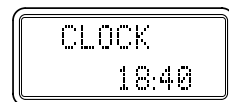
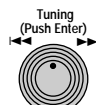
4

選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して"分"を合わせる



5

時間になったら選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)ボタンを押す



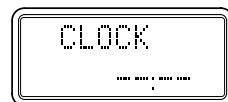
電話の時報などで合わせることをおすすめします。

おねがい

停電があったときは時計を合わせ直してください。



- 電源オフ(スタンバイ)中に時計合せ / 表示切換ボタン (Display/Clock ADJ)を押すと約 5 秒間時刻を表示します。
- 時計合わせをしていない場合は、下記の表示になります。

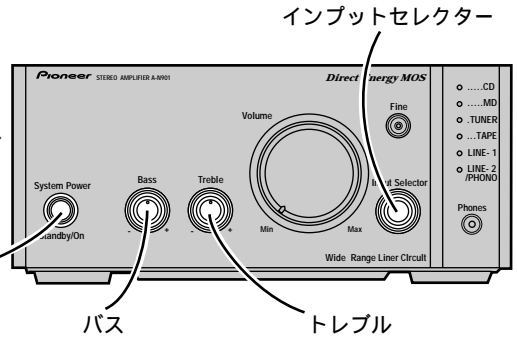
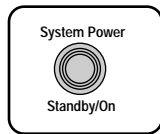


# 電源を入れる / 演奏する

もう一度「接続のしかた」を見て、スピーカーやアンテナなどが接続されているか確認しましょう。

- すべての機器の電源の入/切はアンブ、またはCDチューナーの電源スイッチ(System Power)で行います。
- リモコンの電源ボタン (SYSTEM POWER)でも行えます。
- リモコンの入力切換ボタン (INPUT SELECT)を押しても電源が入って再生をはじめます。(ダイレクトパワーオン)

“入”のときは音量調整つまみの周りのインジケーターが点灯“切”のときは消灯



準備

基本操作

## ダイレクトパワーオン

リモコンでのみ操作できます。

CD



CDが入っているときに、CDボタンを押すと、演奏をはじめます。

MD



MDが入っているときに、MDボタンを押すと、演奏をはじめます。

TAPE



テープが入っているときに、TAPEボタンを押すと、演奏をはじめます。  
前に再生していた方向へ再生します。もう一度ボタンを押すと逆方向になります。

BAND



BANDボタンを押すと、ラジオ放送になります。  
押すごとに下記のように切り換わります。

FM ↔ AM

LINE



LINEボタンを押すと、外部入力になります。  
前に選ばれていた外部入力 (LINE-1 または LINE-2) が選ばれます。

## 入力を切替える

Input Selector



入力切換つまみ (Input Selector)を回して演奏したい機器に合わせます。

A-N701

- ..... CD
- ..... MD
- ...TUNER
- ...TAPE
- LINE-1
- LINE-2

A-N901

- ..... CD
- ..... MD
- ...TUNER
- ...TAPE
- LINE-1
- LINE-2 /PHONO

選ばれた入力のインジケーターが点灯します。



A-N901においてLINE2とPHONOの入力を切り換える場合は、リアパネルの切換スイッチで行います。



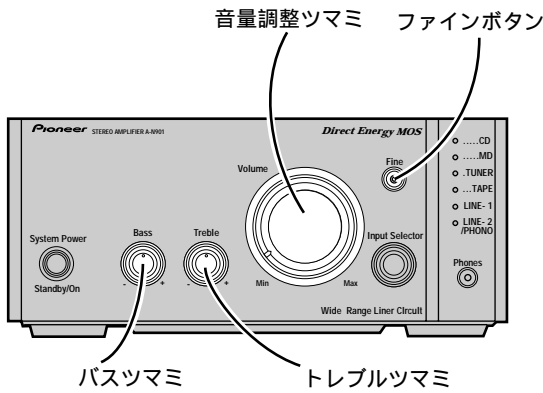
リアパネルでLINE2とPHONOを切り換える際には、大きな音が出る場合がありますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

MD編集

応用操作

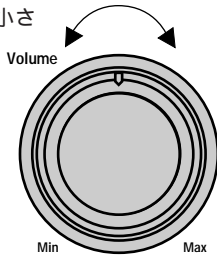
その他

# 音量を調整する / 音質を変える

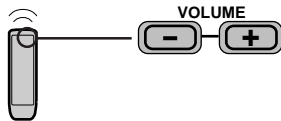


## 音量を調整する

左に回すと音が小さくなります    右に回すと音が大きくなります

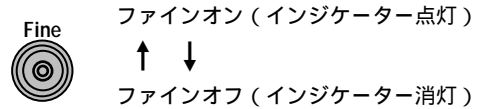


リモコンでも操作できます。



## ファインモードにする

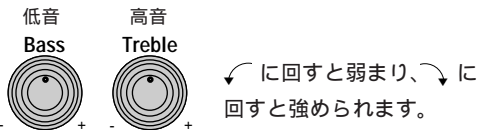
ファインモードにすることによって、小さい音量のときの微調整がしやすくなります。また、低音、および高音が増強され、小さい音量のときでも聴きやすい音になります。



**注意!!**

- ファインモードをオンからオフにするときに、約2秒間無音になり、自動的に音量が絞られます。
- 音量を絞っている間はファインボタン(Fine)のインジケータが点滅します。

## 音質を変える



MDの録音、あるいはテープ録音の音声は、設定した音質の設定には関係ありません。

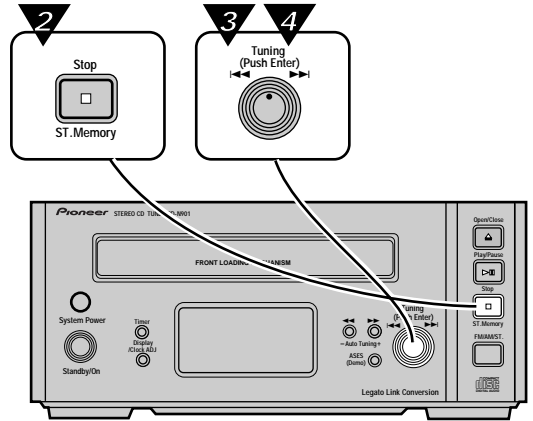
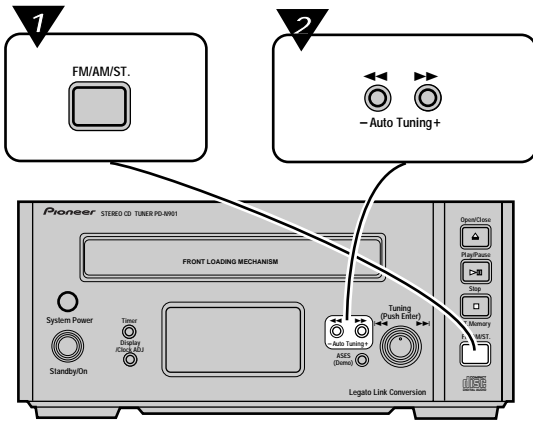


オートトーンダイレクト  
バス(Bass)とトレブル(Treble)、両方のツマミを中央にセットした場合に、オートトーンダイレクトとなり、トーン回路がバイパスされ、よりクリアな音質が得られます。



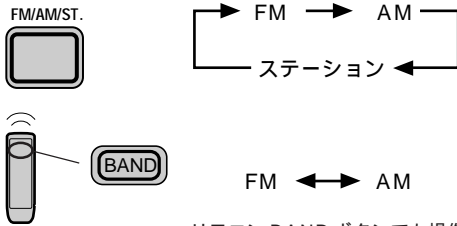
# ラジオ放送を聞く

アンテナは接続されていますか? [P.6](#) [P.7](#) [P.8](#) [P.9](#) [P.10](#) [P.11](#) [P.13](#)



## 放送を受信する(チューニング)

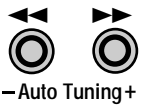
### 1 FM または AM を選ぶ



リモコン BAND ボタンでも操作できます。

### 2 受信する

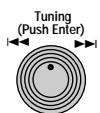
#### オートチューニング



◀◀ ボタンを押す(ダウン)、または ▶▶ ボタンを押す(アップ)とオートチューニングを開始します。

放送を受信すると自動的に止まり、オートチューニングは解除されます。

#### マニュアルチューニング



希望の周波数になるように、選局 / CD選曲ツマミ (Tuning) を回します。

リモコン ◀◀ ボタン、▶▶ ボタンでも操作できます。



FM ステレオ放送を受信して雑音が多いときはリモコンの MONO ボタンを押してください。表示部に MONO が点灯し、モノラル受信になりますが聞きやすくなります。

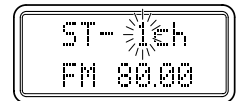
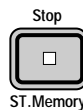
## 放送局を記憶する(ステーションメモリー)

最大30局の放送局をメモリーできます。  
モノラルのオン / オフメモリーできます。

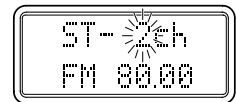
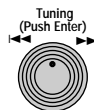
(例) FM 80.0MHz をステーション 2 へメモリーする場合

### 1 受信する

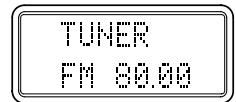
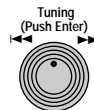
### 2 ステーションメモリーボタン (ST.MEMO) を押す



### 3 選局 / CD 選局ツマミ (Tuning) を回して、ステーション番号を選ぶ



### 4 選局 / CD 選局ツマミ (Tuning) を押す



メモリーが完了します。



ステーションメモリーを中止したいときは、ステーションメモリー (ST.MEMO) ボタンを押します。

準備

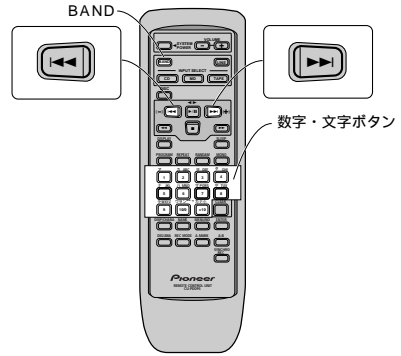
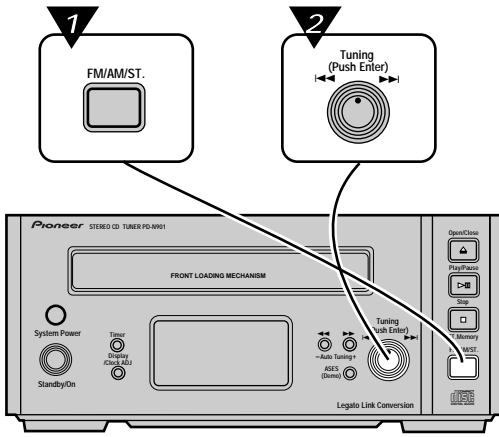
基本操作

M/D 編集

応用操作

その他

# ラジオ放送を聞く



## 放送局を呼び出す (ステーションコール)

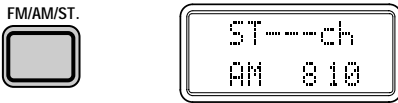
**注意!!**

すでにメモリーされているステーションへメモリーすると前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。

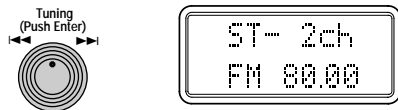
**注意!!**

- FM90MHz ~ 108MHz はテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。
- テレビ受信はFM受信と兼用のため、FM放送が混信することがあります。

### 1 ステーションモードにする



### 2 選局 / CD 選局ツマミ (Tuning) を回して、ステーション番号を選ぶ



テレビの1 ~ 3チャンネルは次の周波数です。

1ch: 95.75MHz

2ch: 101.75MHz

3ch: 107.75MHz

音声はモノラルまたは主音声のみです。



ステップ周波数を切替えるには

国内では通常FM放送は50kHzごとに、AM放送は9kHzごとに変わるように設定されていますが(ステップ周波数)、これをFM放送は100kHzステップに、AM放送は10kHzステップに変えることができます。

1. 電源をオフにする。
2. ステーションメモリーボタンを5秒間押しつづける。周波数表示を約5秒間行います。
3. ステップ周波数表示が出たら、約5秒以内にステーションメモリーボタンを押してステップ周波数を選ぶ。ステップ周波数表示を約5秒間行います。

### リモコンで呼出す

- 入力切替がTUNERのときに数字ボタンで呼出します。(1 ~ 10/0、> 10、CLEAR)

ステーション 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

ステーション 10 :

ステーション 11 ~ 30 : ボタンを押してから番号を選ぶ。

(例)

ステーション 11 .....

ステーション 15 .....

ステーション 30 .....

クリアーボタン () を押すと入力を解除します。

リモコンの ボタン、 ボタンでも呼出せます。



# CD を聞く

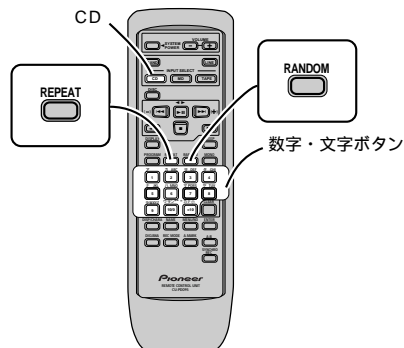
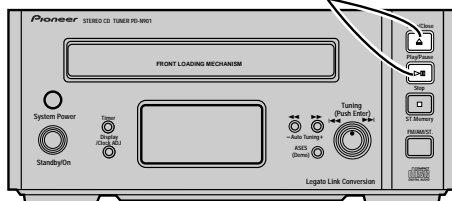
準備

基本操作

M/D 編集

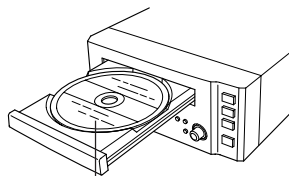
応用操作

その他



## 1 曲目から順に演奏する

### 1 ディスクを入れる



—レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上になります。

### 2 再生 / 一時停止ボタンを押す



演奏を止める	
演奏を一時停止する	
一時停止から演奏を再開する	
頭出しをする <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選局 / CD選曲ツマミ(Tuning)を回して、希望の曲を選びます。</li> <li>● 停止中は頭出しの曲を設定できます。演奏するときは再生 / 一時停止を押します。</li> </ul>	
早送り / 早戻しをする <ul style="list-style-type: none"> <li>● 演奏中に押しつづけます。</li> <li>● ディスクを最後まで早送りすると、一時停止になります。</li> </ul>	 - Auto Tuning +

再生、停止、一時停止、頭出し、早戻し、早送りは、リモコンでも操作できます。

### 聞きたい曲を選ぶ

(リモコン操作)

入力切替が CD のときに数字ボタンを押すと、その曲を演奏します。

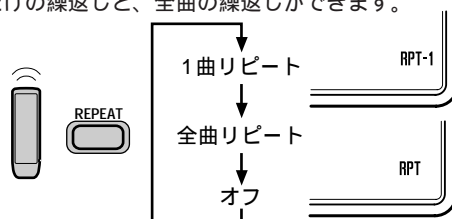
- 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。
- 10 : を押す。
- 11 以上 : を押してから番号を選ぶ。

(例) 15 曲目 .....   
 20 曲目 .....

クリアボタン( )を押すと入力モードを解除します。

### 繰り返し演奏する(リピート演奏)

1 曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。

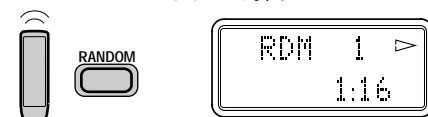


リピート演奏をやめるには  
 リピートオフを選ぶ(インジケーター消灯)。

### 順不同で演奏する(ランダム演奏)

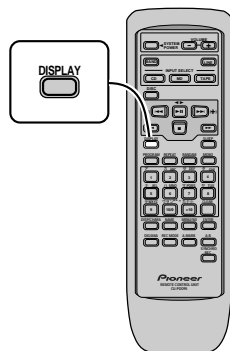
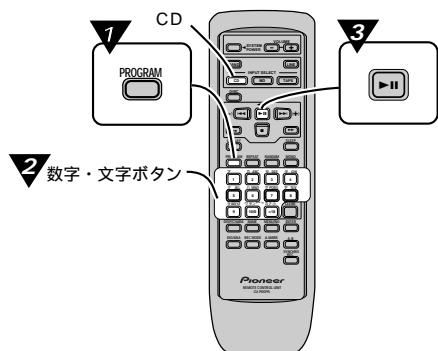
曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す



ランダム演奏をやめるには  
 ● 演奏を停止する(□)。

## CD を聞く



### 好きな曲を予約する(プログラム演奏)

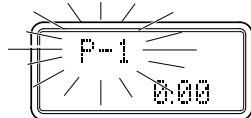
リモコンで行います。

24 ステップまでプログラムできます。

(例)CD で 3 曲目、10 曲目、20 曲目の順に演奏する場合。

#### 1 入力切替が CD のときで停止中に PROGRAM ボタンを押す

PROGRAM

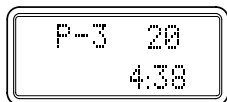


P-1 が点滅します。

#### 2 曲番を指定する



プログラムステップ数とプログラム総演奏時間を約1秒間表示します。



#### 3 再生 / 一時停止ボタンを押す




演奏をはじめます

#### プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 演奏中：停止ボタンを 2 回押す。
- 停止中：停止ボタンを 1 回押す。
- プログラムの入力中は、停止ボタンを 2 回押します。
- ディスクトレイ開閉ボタンを押して、CD を取出す。
- 電源をオフにする。

#### 曲番をまちがえたときには

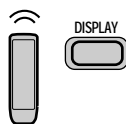
クリアボタン (  ) を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

#### 表示を切替える

CD 再生中に CD チューナーの時計合せ / 表示切替ボタン (Display/Clock ADJ) を押して順に切替えることができます。



- ① 演奏中の曲番、演奏経過時間
- ② 演奏中の曲番、1 曲の残り時間



- ③ 全曲の残り時間
- ④ 総曲数、総演奏時間

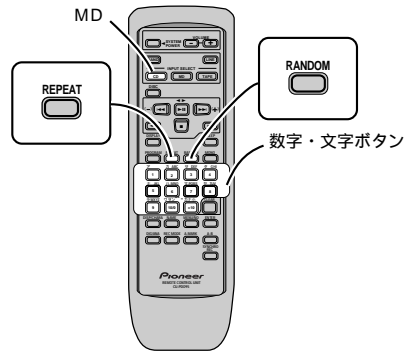
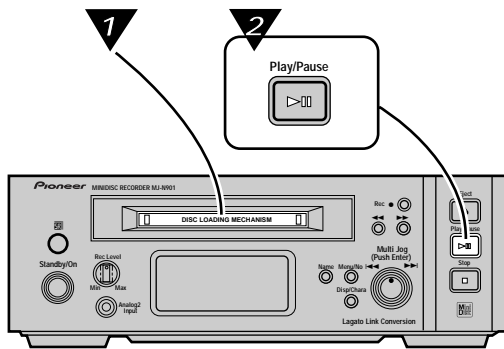


- CD を 2 枚重ねて入れたり、CD 以外のものを入れてください。故障の原因になります。
- 8cmCD アダプターは使用しないでください。



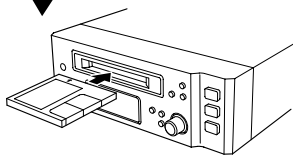
- 1 曲リピート中に選曲 / CD 選曲ツマミ (Tuning) で別の曲に移ったときは、その曲を繰返します。
- ランダム演奏中に全曲リピートにするとランダム演奏を繰返します。(ランダムリピート)
- プログラム演奏中にランダムボタン (RANDOM) を押すとプログラム演奏が解除されランダム演奏します。
- ランダム演奏中にランダムボタン (RANDOM) を押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

# MD を聞く



## 1 曲目から順に再生する

### 1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

### 2 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生する前にディスクの最初に記録されている TOC 情報を読み取りますので、その間は音が出ません。

### 聞きたい曲を選ぶ

(リモコン操作)

入力切替が MD のときに数字ボタンを押すと、その曲を再生します。

1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

10 : を押す。

11 ~ 99 : を押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

100 以上 : を 2 回押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

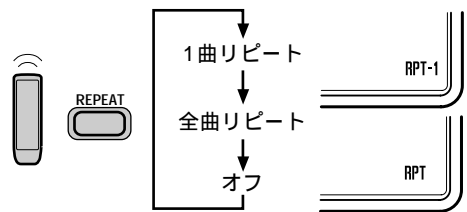
(例) 15 曲目 .....   
 20 曲目 .....   
 108 曲目 .....

クリアボタン () を押すと入力モードを解除します。

### 繰り返し再生する (リピート再生)

1 曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。

リモコンの REPEAT ボタンを押す

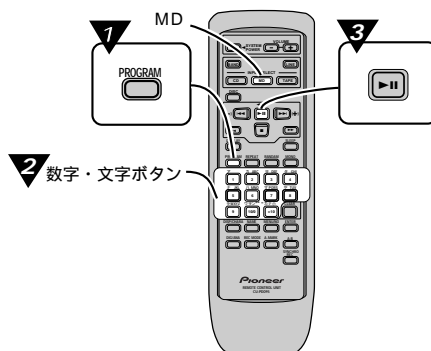


リピート再生をやめるには

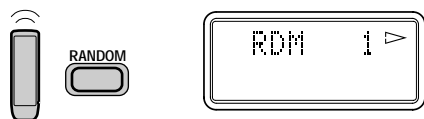
リピートオフを選ぶ(インジケーター消灯)。

再生を止める	
再生を一時停止する	
一時停止から再生を再開する	
頭出しをする <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して、希望の曲を選びます。</li> <li>● 停止中は頭出しの曲を設定できます。</li> </ul> 再生するときは再生 / 一時停止を押します。	
早送り / 早戻しをする <ul style="list-style-type: none"> <li>● 押しつづけます。</li> <li>● ディスクの最後まで早送りすると、一時停止となります</li> </ul>	

再生、停止、一時停止、頭出しはリモコンでも操作できます。



順不同で再生する(ランダム再生)  
 曲を無作為に選んで1回ずつ再生します。  
 リモコンのRANDOM ボタンを押す



ランダム再生をやめるには

- 再生を停止する(口)。



- 「再生専用MD」、「録音・再生用MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると再生ボタンを押さなくても再生をはじめます。
- 曲名が入っているMDは再生時に曲名を表示します。

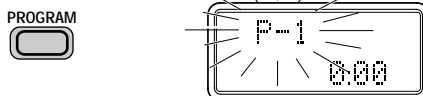


- ランダム再生中に全曲リピートにするとランダム再生を繰り返します。(ランダムリピート)
- プログラム再生中にランダムボタン(RANDOM)を押すとプログラム再生が解除され、ランダム再生します。
- ランダム再生中にランダムボタン(RANDOM)を押すと、再生中の曲を中止し、別の曲を選んで再生します。
- リピート再生中あるいはランダム再生中に編集メニュー(44ページ)に入ると、リピート再生あるいはランダム再生を解除します。

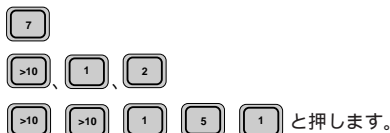
## 好きな曲を予約する(プログラム再生)

リモコンで行います。  
 24ステップまでプログラムできます。  
 (例)7曲目、12曲目、151曲目の順に再生する場合。

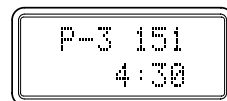
### 1 MD停止中に PROGRAM ボタンを押す



### 2 曲番を指定する



プログラムステップ数  
 および曲番、プログラ  
 ムの総再生時間を表示  
 します。



### 3 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生をはじめます

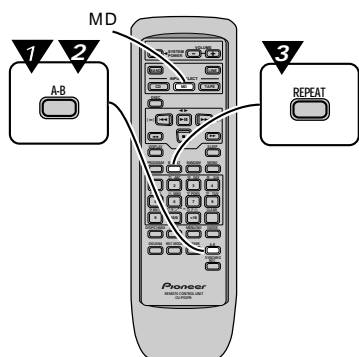
プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 再生中： 停止ボタンを2回押す。
- 停止中： 停止ボタンを1回押す。
- プログラム入力中は、停止ボタンを2回押す。
- ディスク取出しボタンを押して、MDを取出す。

曲番をまちがえたときには

停止中にクリアボタン(  )を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。



## 曲の途中を繰り返して演奏する

(A-B リピート演奏)

リモコンで行います。

**1**

MD 再生中に

**A-B ボタンを押す**



繰り返しの始まり (A の位置) を指定します。

**2**

**A-B ボタンを押す**



繰り返しの終わり (B の位置) を指定します。

**3**

**REPEAT ボタンを押す**



A-Bリピートオン



A-Bリピートオフ

A-B リピートをオンにすると、表示部に A-B と REPEAT が点灯し、オフにすると消灯します。

**A-B リピートを取り消すには**

下記のいずれかの操作で取消せます。

- REPEAT ボタンを押す。
- 再生を停止する
- ディスク取出しボタンを押して、MD を取出す。



- ランダム再生およびプログラム再生中は A-B リピート演奏は操作できません。
- A-B リピート演奏を解除すると、指定した A-B の位置も解除されます。
- リピートボタン (REPEAT) を押して A-B リピート演奏を解除すると、解除した位置の曲の最初から再生します。

## 表示を切換える

本体の表示切換 / キャラクターボタン (Disp/Chara) または、リモコンの DISP/CHARA ボタンで順に切換えることができます。

### 停止中

- 曲番指定がないとき
  - ① ディスクネーム表示 (ノーネームの場合には、DISC NO NAME と 1 秒間表示したあとに、総再生時間表示になります。)
  - ② 全曲数および総再生時間
  - ③ 録音できる残り時間 (再生専用 MD では表示しません。)
- 曲番指定したとき
  - ① 以前にネーム表示をしていた場合は、指定曲番のトラックネームを表示。(ノーネームの場合には、TRK NO NAME と 1 秒間表示したあとに、時間表示になります。)
  - ② 以前に時間表示をしていた場合は、指定曲番 1 曲の再生時間を表示。
- 曲番がすでに指定されているとき
 

現在トラックネーム表示をしているなら、1 曲時間表示に、時間表示をしているなら、ネーム表示になります。

### 再生中および再生一時停止中

- ① 再生中の曲番、トラックネーム (ノーネームの場合には、TRK NO NAME と 1 秒間表示したあとに、経過時間表示になります。)
  - ② 再生中の曲番、再生経過時間
  - ③ 再生中の曲番、1 曲の残り時間
  - ④ 総残量時間
  - ⑤ レベルメーター、経過時間
- ④、⑤ の表示中において曲番を指定したとき、および曲が変化したとき
    - ① 指定曲番、現在の時間表示
    - ② 曲番を指定する前の表示に戻る

### 録音中および録音一時停止中

- ① レベルメーター、経過時間
  - ② レベルメーター、録音残量時間
  - ③ 録音曲番、トラックネーム表示 (ノーネームの場合には、TRK \_ NO NAME と 1 秒間表示したあとに、経過時間表示になります。)
  - ④ 録音曲番、経過時間
- レベルメーター表示中において曲番がアップしたとき
    - ① 録音曲番、現在の時間表示
    - ② 曲番がアップする前の表示に戻る



# MD に録音する前にお読みください

## MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。 [P.32]

## TOC (Table of Contents) について

MD に録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの周部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

TOC は次のときに MD に記録されます。

- MD を取出したとき
- 電源を切ってスタンバイになるとき

TOC の記録中 (“ TOC WRITE ” 点滅中) に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

## デジタル録音について

本機のデジタル入力のサンプリング周波数は 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz に対応しています。したがって、以上のサンプリング周波数の機器 (BS/CS チューナーや DAT など) を直接デジタル録音することができます。サンプリング周波数の切換えは自動的に行われます。

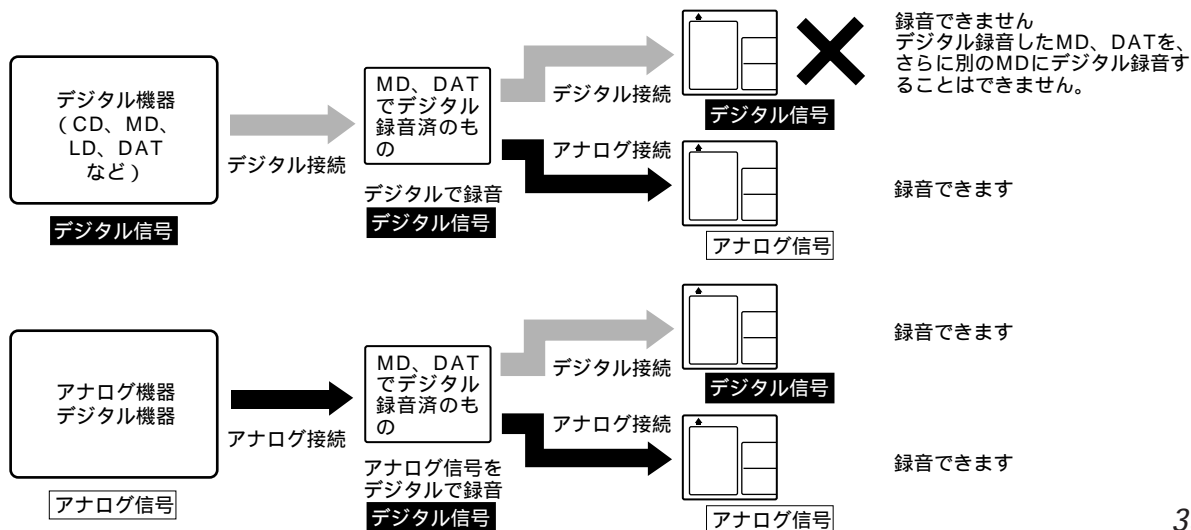
## 曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

- CD のデジタル録音  
CD の曲番と同じところに、1 曲ごとの曲番が自動的につきます。(シンクロマーク機能) ただし、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

## デジタルコピーに関するご注意

CD からデジタル録音したものを、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS (シリアルコピー管理システム) により定められているためです。



- ラジオ放送の録音  
1 回の録音を 1 曲として曲番を付けます。
- CD、MD 以外のデジタル録音やテープ、外部機器のアナログ録音
  - 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます (オートマーク機能)。ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。
  - オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。 [P.40]
- 外部機器のデジタル録音  
録音ソースが CD、MD の場合、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付けられます。(シンクロマーク機能) ただし、録音ソースの曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。録音ソースが CD、MD 以外の場合は必要に応じてオートマーク機能をご使用ください。

## デジタル/アナログ録音の切り換えについて

- CD あるいは MD に接続された外部機器を録音するときのみ、切換え可能です。本体のメニュー操作、またはリモコンで切換えます。
- ラジオ放送、テープあるいは LINE1、LINE2 を録音するときは、アナログ録音となります。

### 注意!!

次のようなときは録音できません

- 再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき。
- MD の誤消去防止状態になっているとき。
- MD の録音可能時間が残っていないとき。
- “<sup>トック</sup>TOC <sup>フル</sup>FULL” が表示されたとき。
- <sup>トック</sup>TOC が異常なとき。

## MD に録音する前にお読みください

### 録音レベルについて

- デジタル録音時は、録音レベルの調整の必要はありません。
- アナログ録音時は、録音をはじめる前に録音レベルを調整します。 **P.138**

### 録音中に停電すると

MDへの録音中にコンセントが抜けたり、停電があっても、その時の録音内容を保持します(停電前数秒間の音声は除きます)。次に電源がオンになった時に TOC の記録を行います。ただし録音内容を保持できるのは約2日程です。電源プラグをコンセントから抜く場合には必ずディスクを取出してからにしてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先： 社団法人 私的録音補償金管理協会  
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー11F  
電話 (03)-5353-0336 FAX. (03)5353-0337

本機はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

## MD のシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“ <sup>トック</sup> TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、 <sup>トック</sup> TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、 <sup>トック</sup> TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行えば最初から使用できます。)
MD の最大録音時間になっていないのに“ <sup>ディスク</sup> DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が <sup>デフェクト</sup> 少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲(CDやMDなど)と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。

## こんな表示が出たときは

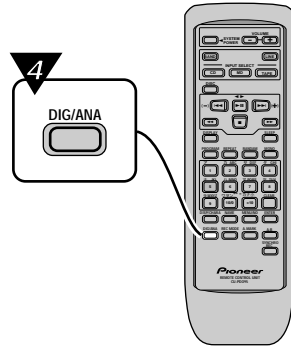
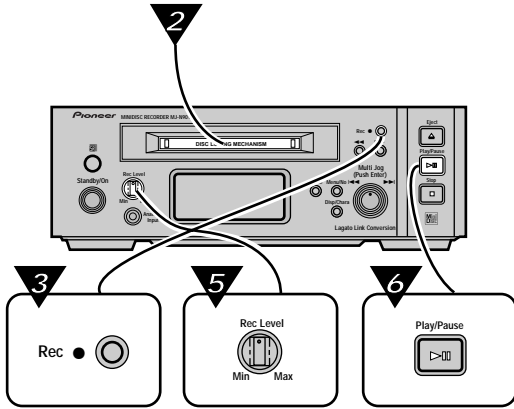
表示	意味	このようにしてください
ノディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが入っていない。</li> <li>● MDのデータが読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDを入れる。</li> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> </ul>
ディスク エラー DISC ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがついている。</li> <li>● TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> <li>● 他のMDと取りかえる。</li> </ul>
ディスク ? DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データに異常がある。規格外のMDである。</li> <li>● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取りかえる。</li> </ul>
ディスク フル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDに録音できる空きがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> <li>● 他の録音用MDと取りかえる。</li> </ul>
ブランク ディスク BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。</li> </ul>
プレイ オンリー PLAY ONLY	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音用MDと取りかえる。</li> </ul>
プロテクト PROTECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが誤消去防止状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止状態をもとに戻す。</li> </ul>
トラック フル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取りかえる。</li> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>
キャント レコ Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。</li> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>
テンプ オーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度が高くなりすぎた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切ってしばらく休ませる。</li> <li>● 5ページのように設置してください。</li> </ul>
キャント エディット Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。</li> </ul>
ネーム NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名/曲名を短くする。</li> </ul>
デフェクト DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取りかえる。</li> </ul>
メカ エラー MECHA ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが正しく働いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。</li> </ul>
キャント コピー Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー禁止のものから録音しようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。 (表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)</li> </ul>
ノット オーディオ NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オディオ用でないデータが記録されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDを取りかえる。</li> </ul>
ユートック エラー ライト UTOCH ERR W	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 (書き込み中はショックを与えないでください。)</li> </ul>
ユートック エラー リード UTOCH ERR R	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取りかえる。</li> </ul>
ユートック エラー UTOCH ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>
ポイント エラー POINT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● A-B編集またはA-BリピートでのA点、B点の指定がおかしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● A点、B点の指定および微調整をやり直す。</li> </ul>

## MD に録音する前にお読みください

表 示	意 味	このようにしてください
<small>フォーカス エラー</small> FOCUS ERROR	● フォーカスが合わない。	● MD をもう一度入れ直す。 ● 他の MD と取り替える
<small>デジタルイン アン ロック</small> D-IN UNLOCK	● デジタル入力有的时候に、正常な信号が入力されていない。	● デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。
<small>トラック エラー</small> TOC ERR	● ディスクにキズがあるかTOC情報がMDの規格にあっていなかったり読めない。	● 他の MD と取りかえる。
<small>エラー</small> SIO ERROR	● MD レコーダー内の通信がおかしい。	● 電源を数回オン / オフにしてみる。 ● AC プラグを抜いて再度つないでみる。
<small>メモリー フル</small> MEMORY FULL	● 録音中に DRAM の容量がいっぱいになった。	● 録音をやり直す。
<small>ロム エラー</small> EEPROM ERROR	● EEPROM のデータに異常がある。	● AC プラグを抜いて再度つないでみる。
<small>トラック プロテクト</small> TRACK PROTECT	● 該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	● MD をとりかえる。

# MD に録音する

- 録音できる MD は、録音・再生用 MD です。



## マニュアル録音する

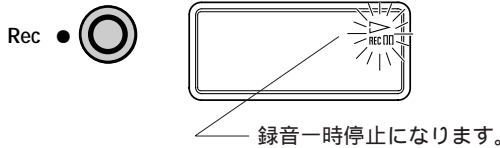
### 1 アンプで演奏する機器を選ぶ

- 放送を録音する場合は、放送を受信しておいてください。
- MD に接続された外部機器を録音する場合は、アンプの入力を MD にしてください。録音一時停止または録音状態で音を聞くことができます。

### 2 MD を入れる

誤消去防止状態になっている MD には録音できません。

### 3 停止から録音ボタンを押す



### 4 デジタル録音またはアナログ録音を選ぶ

停止中または録音一時停止中に行います。

リモコン ボタンを押します。

入力切換が CD のとき



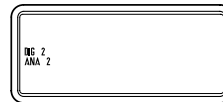
デジタル1  
(CDの光入力端子)



アナログ1  
(リア側のMD入力端子)

デジタル1のときは表示部にDIG1が点灯し、アナログ1のときにはANA1が点灯します。

入力切換が MD のとき



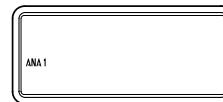
デジタル2  
(外部デジタル機器の光入力)



アナログ2  
(フロント側の外部機器入力端子)

デジタル2のときは表示部にDIG2が点灯し、アナログ2のときにはANA2が点灯します。

入力切換が CD、MD 以外のとき



アナログ1 (リア側の MD 入力端子) のみになり、切り換えはできません。

表示部に ANA 1 が点灯します。

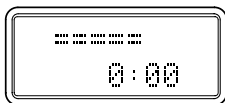
\* 本体メニュー操作でデジタル録音、アナログ録音を選ぶ場合は 38 ページを参照してください。

▶▶ 次ページへ続きます。

## 5 録音レベルを調整する

アナログ録音時のみ調整できます。

▼で選んだ機器を演奏状態にしてください。



録音レベルツマミ(Rec Level)を回して調整します。  
録音レベル表示でレベルオーバー(メーターの一番右端で表示が点灯する)しないようにしてください。

調整が終わったら演奏を停止してください。

## 6 再生 / 一時停止ボタンを押す

Play/Pause



録音が始まります。

## 7 ▼で選んだ機器を演奏する

録音をやめる	
録音を一時停止する	
録音を再開する	

- 録音中にはアンプの入力の切換えはできません。(録音一時停止にすれば可能です)
- 音質調整は録音の音質には効果がありません。

録音中に録音ボタン(Rec)を押すと、そこから曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。

デジタル録音、アナログ録音を本体メニュー操作で選択するには

- ① アンプで演奏する機器を選ぶ。(手順 ▼)
- ② MD を入れる。(手順 ▼)
- ③ 録音ボタン(●)を押す。(手順 ▼)

このあとで

- ④ メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。
- ⑤ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "INPUT SELECT" を選ぶ。



- ⑥ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑦ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ。(手順 ▼)
- ⑧ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑨ デジタルを選んだときは再生 / 一時停止ボタンを押して録音をはじめます。(手順 ▼, ▼)  
アナログを選んだときは録音レベルを調整して録音をはじめます。(手順 ▼ ~ ▼)

デジタル録音、アナログ録音の設定は、最後の状態がメモリーされます。

MD の記録曲数は最大 255 曲ですが、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

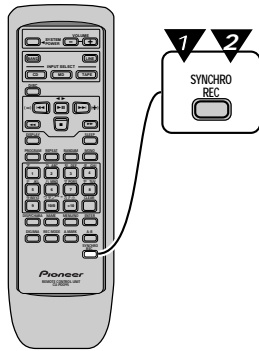
CD から録音するときのポイント

下記の手順で CD から MD への録音を始めると、音切れの心配がありません。

- ① 録音したいディスク、または曲を選ぶ。
- ② CD チューナーの再生 / 一時停止ボタン(Play/Pause)を2回押して、一時停止状態にする。
- ③ CD チューナーのマルチジョグ / 選曲ツマミ (Multi Jog)を◀方向に1回まわす。(曲の最初で一時停止になります。)
- ④ MD レコーダーを録音一時停止状態にする。(手順 ▼)
- ⑤ MD の録音を始める。(手順 ▼)
- ⑥ CD チューナーの再生 / 一時停止ボタン(Play/Pause)を押して、再生を始める。

CD の録音時に CD の再生が始まると、曲番が一つ繰り上がる場合があります。これは CD のデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要な曲番は一曲を消す(トラックイレス)、または全曲を消す(オールイレス)を参照して削除してください。(50 ページ)

## MD に録音する



### シンクロ録音する

デジタル録音、アナログ録音するときに、音楽等が始まると自動的に MD が録音を開始し、音楽等が終わると録音一時停止になります。このときスペースカットとオートマーク機能がはたらきます。(ラジオ放送では、シンクロ録音は選べません)

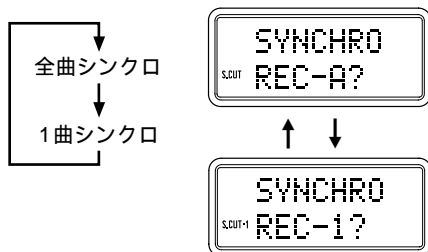
「マニュアル録音する」(37 ~ 38 ページ)の  
1 ~ 5 を行ってください。

- ① アンプで演奏する機器を選ぶ。
- ② MD を入れる。
- ③ デジタル録音 / アナログ録音を選ぶ。(リモコン)
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。

#### 1 リモコンの SYNCRO ボタンを押す



#### 2 全曲シンクロ録音か 1 曲シンクロ録音かを選ぶ



全曲シンクロ録音を選ぶと S.CUT が点灯し、1 曲シンクロ録音を選ぶと S.CUT-1 が点灯します。

#### 3 アンプで選んだ機器を演奏する

- 音が出ると同時に録音をはじめます。
- 録音したい機器の演奏をはじめてください。
- 演奏が終わると停止状態になります。
- 1 曲シンクロ録音の場合は、停止状態になります。

録音を止める



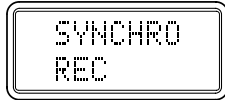
シンクロ録音一時停止中あるいは録音中に ▷||| ボタンを押すと、シンクロ録音を解除して通常録音あるいは録音一時停止になります。



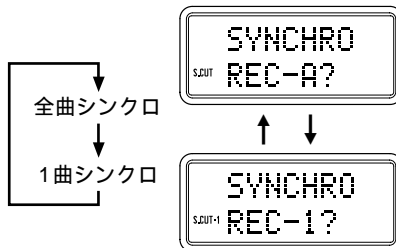
## MD に録音する

シンクロ録音を本体メニュー操作するには

- ① 「マニュアル録音する」(37～38ページ)の1～5を行う。
- ② メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。
- ③ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "SYNCHRO REC" を選ぶ。



- ④ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑤ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して、全曲シンクロ録音か1曲シンクロ録音かを選ぶ。



- ⑧ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑨ アンプで選んだ機器を演奏する。

メニュー操作を中止するには

メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。

シンクロマーク機能

デジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。ただし録音ソースの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

スペースカット機能

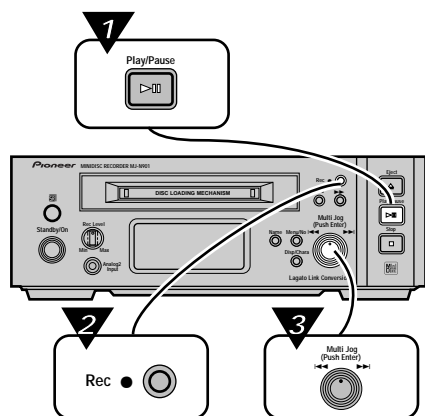
- シンクロ録音時、演奏に4秒以上の無録音があるときは、自動的に録音の待機状態になります。このあと演奏がはじまると録音を再開します。(4秒間の曲間ができます)
- 演奏音の曲間に雑音があるとシンクロ録音やスペースカット機能が正しく働かないことがあります。その場合は、マニュアル録音してください。
- 非常に小さな音が4秒以上続く曲や、会話などはマニュアル録音を行ってください。
- 録音レベルの調整が低すぎる場合には、シンクロ録音が働かないことがあります。

オートマーク機能

- 1.5秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。



## MD に録音する



### 録音してある途中から録音する (オーバーライト録音)

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

1

MD 再生中に録音をはじめたいところで再生 / 一時停止ボタンを押す

Play/Pause



再生一時停止になります。

2

録音ボタン(Rec)を押す

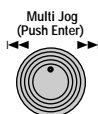
Rec



オーバーライト録音をしない場合は、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。

3

マルチジョグ / MD 選曲ツマミ  
(Multi Jog) を押す



録音一時停止になります。

「マニュアル録音する」(37 ~ 38 ページ) の  
▼1, ▼3, ▼5 ~ ▼7 を行ってください。

- ① アンプで演奏する機器を選ぶ。
- ② デジタル録音 / アナログ録音を選ぶ。(リモコン)
- ③ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。
- ④ 再生 / 一時停止ボタンを押す。
- ⑤ ① で選んだ機器の演奏をはじめめる。

シンクロ録音をすることもできます (P.39)。

録音を止める



▼3 で停止ボタン (STOP) を押すと、オーバーライト録音を解除して、元の状態に戻ります

準備

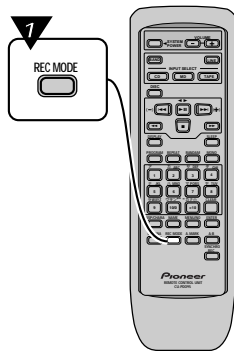
基本操作

MD 編集

応用操作

その他

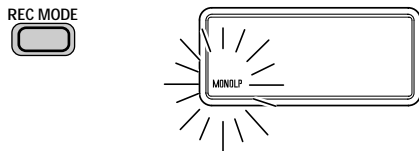
## MD に録音する



### モノラルで長時間録音する

- ステレオモードの約 2 倍の時間の録音ができます。モノラル演奏の曲やトーク番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

#### 1 リモコンの録音モードボタン (REC MODE) でモノラルを選ぶ



#### 2 「マニュアル録音する」(37 ~ 38 ページ) の 1 ~ 5 を行う

- ① アンプで演奏する機器を選ぶ。
- ② MD を入れる。
- ③ デジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。

シンクロ録音をすることもできます (P.39)。

#### 3 録音側、再生側の再生 / 一時停止ボタン(Play/Pause)を押す



録音がはじまります。

録音を止める

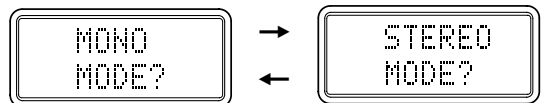


☺ 録音モードを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(37 ~ 38 ページ) の 1 ~ 5 を行う。左記手順の ▼ です。
- ② メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。
- ③ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "REC MODE" を選ぶ。



- ④ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑤ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "MONO" か "STEREO" のいずれかを選ぶ。



- ⑥ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。

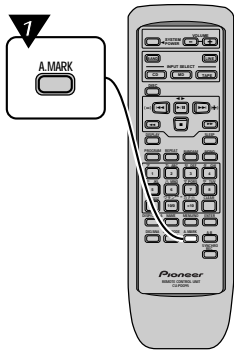
メニュー操作を中止するには

メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。



- 次回の録音をモノラルにしてしまわないために、モノラルで録音した後は、ステレオ録音に切換えておくことをおすすめします。
- モノラル録音中でもレベルメーターはステレオで振れます。

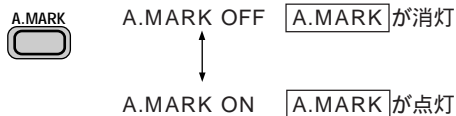
## MD に録音する



### ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 [P.40] を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。CD、MDのアナログ録音、TAPEおよび外部機器(LINE-1、LINE-2)の録音で行えます。

#### 1 リモコンのオートマークボタン (A.MARK) で "OFF" を選ぶ



#### 2 「マニュアル録音する」(37 ~ 38 ページ) の 1 ~ 7 を行う

- ① アンプで演奏する機器を選ぶ。
- ② MDを入れる。
- ③ CD録音のときはアナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ 録音レベルを調整する。
- ⑥ 再生/一時停止ボタンを押す。
- ⑦ アンプで選んだ機器を演奏する。

録音を止める



😊 オートマークのオン / オフを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(37 ~ 38ページ)の1 ~ 7を行う。左記手順の 2 です。
- ② メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。
- ③ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "AUTO MARK" を選ぶ



- ④ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ⑤ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して "ON" か "OFF" のいずれかを選ぶ。



- ⑥ マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。

メニュー操作を中止するには

メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。



オートマークのオン / オフの設定はアンプの入力機器ごと、およびデジタル / アナログでの最後の設定を記憶します。例えば、CDやTAPEからは音楽を録音するのでオンにする。外部機器(LINE-1、LINE-2)はトークといっしょに録音するからオフにする。などを1度設定しておく、録音のたびに設定する必要がなくなり、便利です。



CDあるいはMDのデジタル録音およびラジオ放送の録音の場合は、オートマーク機能は常にオフとなります。



CDあるいはMDのデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。

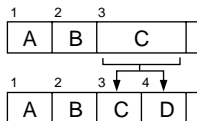
ただし、録音ソースの曲番と、録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

# MD 編集機能の使いかた

## 編集メニューについて

編集機能を使って自分だけのディスクづくりができます。

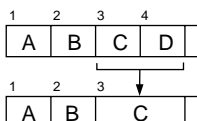
- ① 1つの曲を2つの曲に分ける(デバインド)



Cを2つに分けて新しくC、Dの2曲にする。

分けた曲以降の曲番は自動的に変更されます。

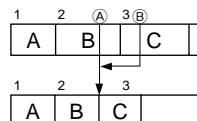
- ② 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする(コンバイン)



C、Dの2曲を1曲にして新しくCとする。

つないだ曲以降の曲番は、自動的に変更されます。

- ③ 曲の途中と途中をつないで1つの曲にする(A-Bコンバイン)

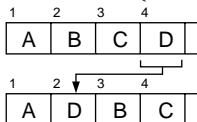


Bの(A)とCの(B)の2点間をつないで新しくBとする。

(A)-(B)間は消去されます。

つないだ曲以降の曲番は自動的に変更されます。

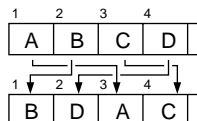
- ④ 曲を移動する(ムーブ)



4曲目のDを2曲目に移動する。

並べかえた後の曲番は自動的に変更されます。

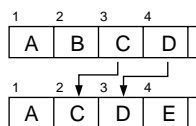
- ⑤ 曲を並べかえる(プログラムムーブ)



B、D、A、Cの順に並べかえる。

プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に変更されます。

- ⑥ 1曲または全曲を消してしまう(イレース/オールイレース)



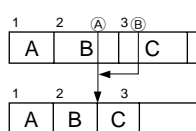
2曲目のBを消す。

消した曲は曲名ごと消えます。

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

- ⑦ 曲の途中から途中までを消す(A-Bイレース)



Bの(A)とCの(B)2点間を消す。

(A)-(B)間は消去されます。

消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

- ⑧ ディスクや曲に名前を付ける(ネーム)

アルファベット(A~Z、a~z)数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。また、あらかじめ用意された名前(ネームリスト)を利用することもできます。

- ⑨ 直前に行った編集を、キャンセルして編集前の状態に戻す(アンドゥ)

直前に行った編集を、やり直したい場合に、その編集をキャンセルして編集前の状態に戻します。

CDやテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバインド、コンバイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CMを消す。
3. ムーブ機能で曲を並べかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

### 注意!!

- 誤消去防止状態になっているMD(20ページ)では、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は録音可能状態(誤消去防止つまみを閉じる)にしてください。
- アセス中は、編集メニューの操作はできません。(60ページ)

## 編集メニューの選択

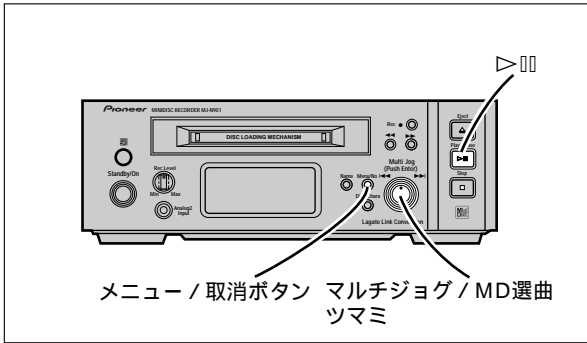
MDレコーダーの状態(動作モード)により選べる編集メニューが異なります。どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

印の編集メニューが選べます。

	デバイト	コンパイン	A-B コンパイン	ムーブ	プログラム ムーブ	イレース	A-B イレース	オール イレース	トラック ネーム	ディスク ネーム	アンドゥ
ディスクネーム表示か タイム表示で停止中	×	×	×	×	×	×	×		×		
録音中 / 録音待機中	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×
曲番表示で停止中	×		×		×		×	×		×	×
再生中	×	×		×	×	×		×		×	×
再生一時停止中					×			×		×	×
プログラムされていて 停止中	×	×	×	×		×	×	×	×		×

停止中に  ボタンを押します。

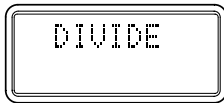
## MD 編集機能の使いかた



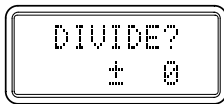
## 1つの曲を2つに分ける(デバイド)

(例) 3 曲目を 2 つに分ける場合

- 1 3 曲目を再生し、分けたいところで、再生 / 一時停止ボタン(▶||)を押す。
- 2 メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押す。
- 3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して“DIVIDE”を選ぶ。

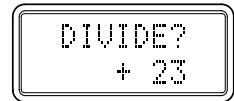


- 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。



分ける位置の手前 4 秒間と、後の 4 秒間の音声のリハーサルが始まります。リハーサルの開始する位置で、表示部(±\*\*\* )が一瞬点滅します。

- 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回す。



分ける位置の微調整を行います。回すたびに、リハーサルをやり直します。

- 6 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。

“EDIT OK”と表示が出て曲が分けられます。

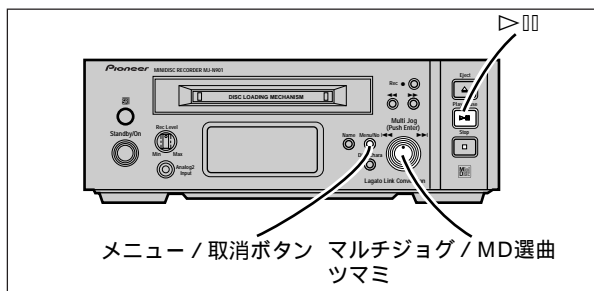
中止したいときは、メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- 分けた曲に曲名が付いていたときは、両方に同じ曲名が付きます。
- 1 枚の MD で最大 254 曲まで曲を分けることができます。(MD の状態によってはできないこともあります。)
- A、B を分ける位置は、約 11.6ms を 1 ステップとして ± 255 ステップまで調整できます。

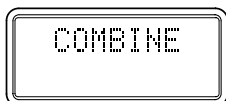


## 2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン)

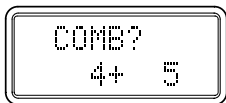
選んだ曲と、その前の曲をつなぎます。

(例) 4曲目と5曲目をつなぐ場合

- 1 停止中にマルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)で5曲目を選ぶ。あるいは5曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン(▷||)を押し、一時停止状態にする。
- 2 メニュー / 取消(Menu/No)ボタンを押す。
- 3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して“COMBINE”を選ぶ。



- 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。



つないで良いかを確認する表示です。

- 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。

“EDIT OK”表示が出て、4曲目と5曲目が4曲目として1つになります。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン(Menu/No)を押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

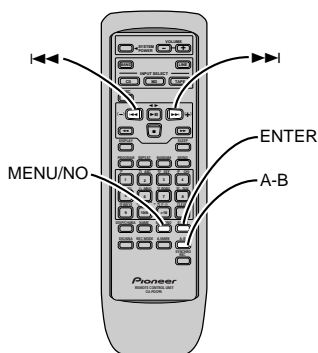


- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では4曲目)の曲名が付きます。前の曲名がついていないときは後の曲名が付きます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。



曲の途中までと、途中からをつなぎたいときはA-Bコンバイン(48ページ)を参照してください。

## MD 編集機能の使いかた



## 曲の途中をつなぐには(A-B コンバイン)

(例)3 曲目の途中までと 4 曲目の途中からをつなぐ場合

1 3 曲目を再生し、つなぎたいところに来たら A-B ボタンを押す。



2 4 曲目を選び、つなぎたいところで A-B ボタンを押す。

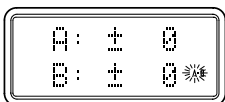


3 MENU/NO ボタンを押す。

4 ◀◀ ボタンあるいは ▶▶ ボタンで A-B コンバインを選ぶ



5 ENTER ボタンを押す。



A-B 間をはぶいて、前後の音をつないだ音声のリハーサルを行います。A パート再生中は A が、B パート再生中は B が点滅します。

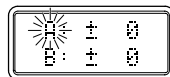
6 A および B の位置を微調整する。

「A-B 位置を微調整するには」の操作①～④を行います。

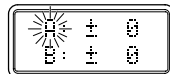
👍😊 A-B の位置を微調整するには

- A-B の位置を指定したあとのリハーサル中に、行います。
- + にすると曲の後ろのほうへポイントが移動し、- にすると曲の前のほうにポイントが移動します。
- 調整するたびに、リハーサルを最初から行います。

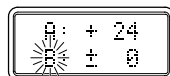
① A-B ボタンを押して、A を点滅させる。



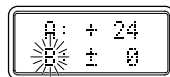
② ◀◀ ボタン、あるいは ▶▶ ボタンを押す。



③ A-B ボタンを押して、B を点滅させる。



④ ◀◀ ボタン、あるいは ▶▶ ボタンを押す。



7 リハーサルの音を聞いて希望どおりにつながったら ENTER ボタンを押す。

"EDIT OK" と表示が出て、A と B がつながり(A-B 間は消去されます)、3 曲目と 4 曲目が 3 曲目として 1 つになります。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。



- リピート再生中やランダム再生中は操作できません。
- プログラムをセットしていると操作できません。プログラム解除してください。
- 編集を繰り返し行った MD では、曲が繋がらないことがあります。このような場合 A-B イレースを使用してください。



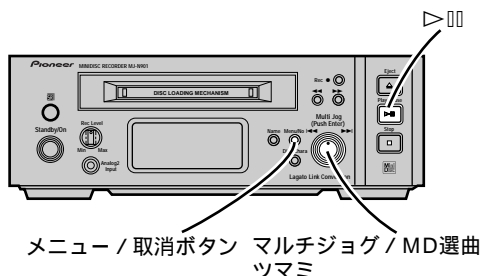
- B の位置は A の位置より後にしか調整できません。A 点、B 点の調整中に "POINT ERROR" が表示されたときは、A 点、B 点の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。



- A、B の位置は約 11.6ms を 1 ステップとして ± 176 ステップまで調整できます。
- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 3 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてから A-B コンバイン機能でつないでください。



## MD 編集機能の使いかた



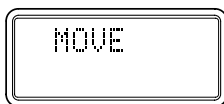
## 曲を移動する (ムーブ)

(例) 8 曲目を 5 曲目に移動する場合

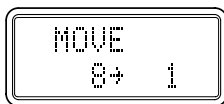
1 停止中にマルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) で 8 曲目を選ぶ。あるいは 8 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン (▷||) を押し、一時停止状態にする。

2 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。

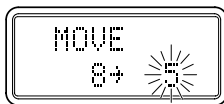
3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して “MOVE” を選ぶ。



4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。



5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して移動先を “5” にする。



6 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

“EDIT OK” と表示が出て、8 曲目を 5 曲目に移動します。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。

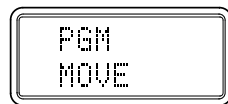


- プログラムをセットしていると操作できません。プログラム解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

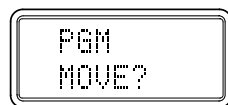
## 曲を並べかえる (プログラムムーブ)

1 並べかえたい順にプログラムする。  
プログラムのしかたは をご覧ください。

2 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。



3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。



並べかえて良いかを確認する表示です。

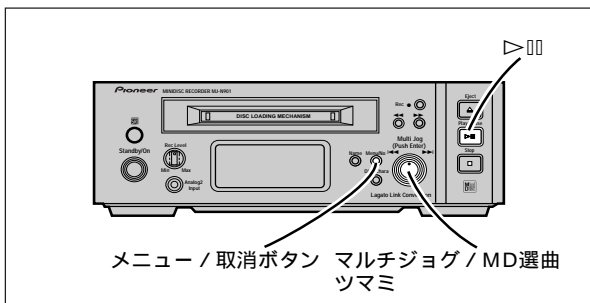
4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

“EDIT OK” の表示が出てプログラムした曲の順に並べかえます。  
プログラムは解除されます。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。



- プログラムしなかった曲は、プログラムした曲のうしろに並びます。
- 同じ曲を 2 回以上プログラムしているときはうしろにプログラムした方を優先して並べかえます。



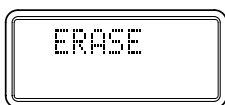
## 曲を消す (イレース)

1 曲または全曲を消します。

1 曲を消す (トラックイレース)

(例) 6 曲目を消す場合

- 1 停止中にマルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) で 6 曲目を選ぶ。あるいは 6 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン (▷||) を押し、一時停止状態にする。
- 2 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。
- 3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して “ERASE” を選ぶ。



- 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。



消して良いかを確認する表示です。

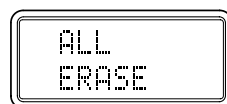
- 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

“EDIT OK” の表示が出て 6 曲目が消えます。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。

全曲を消す (オールイレース)

- 1 停止ボタン (□) を押してタイム表示かディスクネーム表示にする。
- 2 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。
- 3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して “ALL ERASE” を選ぶ。



- 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。



消して良いかを確認する表示です。

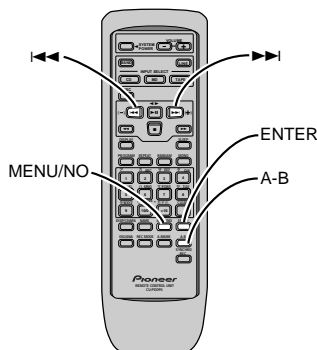
- 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

“EDIT OK” の表示が出て全曲が消えます。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート演奏やランダム演奏は解除されます。



## 曲の途中から途中までを消す (A-B イレース)

(例) 3 曲目の途中から消す場合

- 1 3 曲目を再生して、消したい場所の始まりにきたら、A-B ボタンを押す。



- 2 消したい場所の終わりにきたら、A-B ボタンを押す。

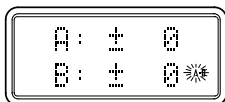


- 3 MENU/NO ボタンを押す。

- 4 ◀◀ ボタンあるいは▶▶ ボタンで A-B イレースを選ぶ



- 5 ENTER ボタンを押す。



A-B 間をはぶいて、前後の音をつないだ音声のリハーサルを行います。A パート再生中は A が、B パート再生中は B が点滅します。

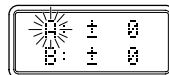
## 6 A および B の位置を微調整する

「A-B 位置を微調整するには」の操作①～④を行います。

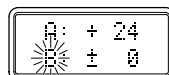
A-B の位置を微調整するには

- A-B の位置を指定したあとのリハーサル中に、行います。
- + にすると曲の後ろのほうへポイントが移動し、- にすると曲の前のほうにポイントが移動します。
- 調整するたびに、リハーサルを最初から行います。

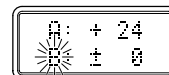
- ① A-B ボタンを押して、A を点滅させる。



- ② ◀◀ ボタン、あるいは▶▶ ボタンを押す。



- ③ A-B ボタンを押して、B を点滅させる。



- ④ ◀◀ ボタン、あるいは▶▶ ボタンを押す。

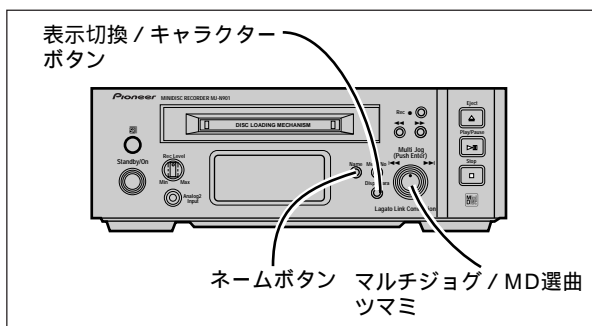


## 7 リハーサルの音を聞いて希望どおりに消えていたら、ENTER ボタンを押す

“EDIT OK” の表示が出て A-B 間が消えます。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu / No) を押してください。

## MD 編集機能の使いかた



## 曲やディスクに名前をつける(ネーム)

1枚のMDには1つのディスク名と、最大255曲の曲名をつけることができます。

使用できる文字は

- アルファベット(大文字)
- アルファベット(小文字)
- 数字、記号
- カタカナ

です。(P.59)をご覧ください。

曲に名前をつける(トラックネーム)

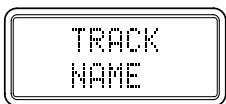
つけた曲名は、曲を選んだときや再生中に表示されます。

(例) 5曲目に“JAZZ”と付ける場合

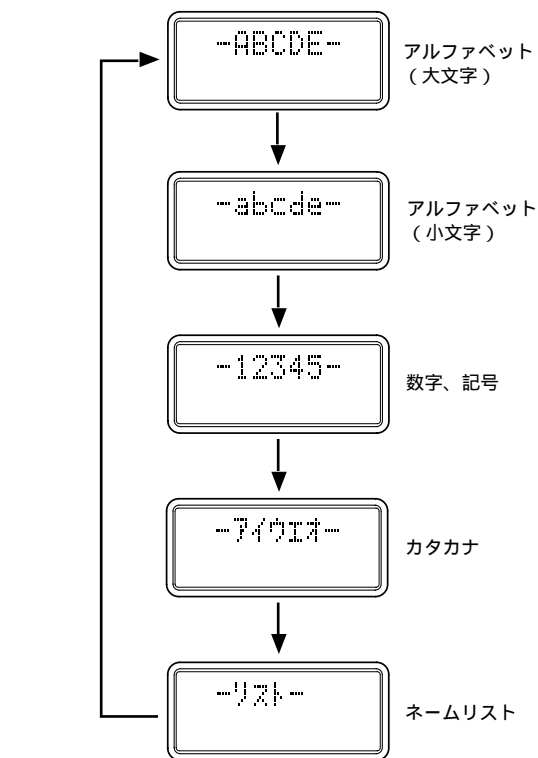
- 1 停止中にマルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog)で5曲目を選ぶ。あるいは5曲目を再生する。



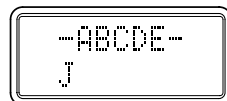
- 2 ネームボタン(Name)を押す。



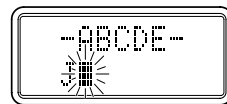
- 3 表示切換 / キャラクターボタン (Disp/Chara)を押して文字の種類を選ぶ。



- 4 マルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog)回して1文字目に“J”を選ぶ。



- 5 マルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog)を押す。



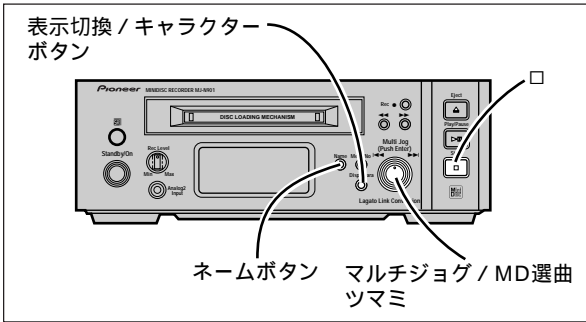
- 6 3 ~ 5 を繰り返して文字を入れる。例の場合は文字の種類が同じなので4,5 を繰り返します。

- 7 ネームボタン(Name)を押す。

選んだ曲(5曲目)に“JAZZ”という名前が付きま



## MD 編集機能の使いかた



ディスクに名前をつける（ディスクネーム）  
つけた名前は MD を入れたときなどに表示されます。

## 1 停止ボタン(□)を押す。

## 2 ネームボタン(Name)を押す。



以下は、曲に名前を付ける場合の3以降と同じように操作して名前を付けてください。

- ① 表示切換/キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ。
- ② マルチジョグ/MD選曲ツマミ(Multi Jog)を回して文字を選ぶ。
- ③ マルチジョグ/MD選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。
- ④ ① ~ ③ を繰り返す。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(□)を押してください。



- 本機で入力したカタカナ文字は、他の機器では正しく表示されないことがあります。  
また、他の機器で入力したカタカナは本機で正しく表示されないことがあります。

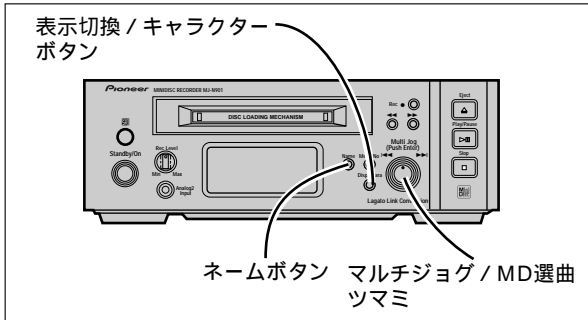


- 再生中、または録音中に曲名入力をしていて、入力が完了するまでに次の曲になったときは、録音が終わってからつづきを入れてください。



- 1つの名前は100文字までです。
- 1枚のMDに入れられる総文字数は1,700文字ですが、カタカナを使うと入れられる総文字数は減ります。文字数を超えると"NAME FULL"と表示します。

## MD 編集機能の使いかた



曲またはディスクにあらかじめ用意された名前をつける（簡単ネームリスト **[P]** **[P]**）

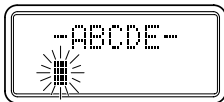
つけた名前は、曲を選んだときや再生中、MDを入れたときなどに表示されます。

（例）ネームリストに用意されている“ROCK”と付ける場合

## 1 付ける名前を選ぶ

- 曲名のとき  
名前を付けたい曲を選ぶ、または、再生する。
- ディスク名のとき  
停止ボタン（□）を押す。

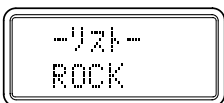
## 2 ネームボタン(Name)を押す。



## 3 表示切換 / キャラクターボタン(Disp/Chara)を押して“リスト”を選ぶ。

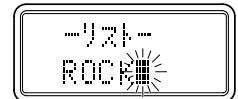


## 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)回して“ROCK”を選ぶ。



最初に呼び出される名前は、前回入力したリストの名前です。

## 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を押す。



入力した名前が付きます。

## 6 ネームボタン(Name)を押す。

選んだ曲、またはディスクに“ROCK”という名前が付きます。

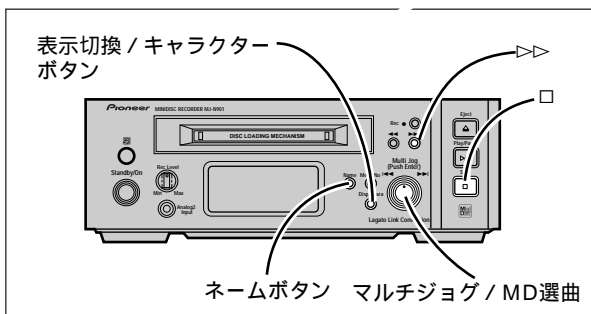


途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン（□）を押してください。



- ネームリストの名前を好きな位置に追加するには、◀ ボタン、▶ ボタンで追加したい位置を点滅させます。
- 続けて名前を入力する場合は、「曲に名前を付ける」の 3～5 の手順と同じように操作してください。

## MD 編集機能の使いかた



## ネームの修正のしかた

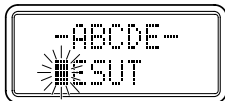
## 文字を消す

消したい文字を点滅させて、文字消去ボタンで消します。  
(例)"BESUT"を"BEST"に修正する場合

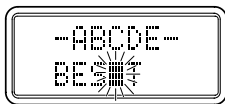
## 1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名するとき:  
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名するとき:  
停止ボタン(□)を押す。

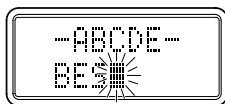
## 2 ネームボタン (Name) を押す。



## 3 ▶▶ ボタンを 3 回押して "U" を点滅させる。



## 4 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。



## 5 ネームボタンを押す。

消去が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(□)を押してください。

## 文字を追加する

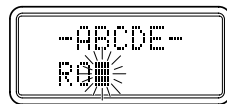
追加したい位置のうしろの文字を点滅させて追加します。  
(例)"ROK"を"ROCK"に修正する場合

## 1 修正する名前を選ぶ。

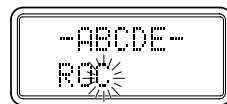
- 曲名するとき:  
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名するとき:  
停止ボタン(□)を押す。

## 2 ネームボタン (Name) を押す。

## 3 ▶▶ ボタンを 2 回押して追加する位置のうしろの文字 "K" を点滅させる。



## 4 マルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) をまわして "C" を選ぶ。



## 5 マルチ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

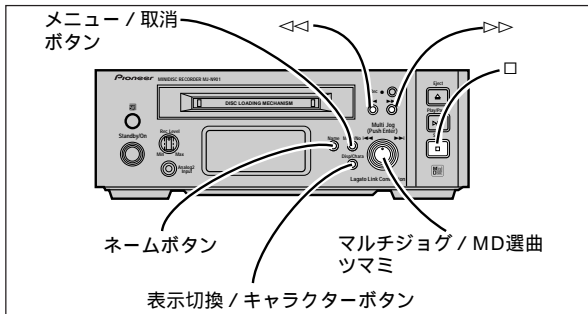


## 6 ネームボタン (Name) を押す。

追加が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(□)を押してください。

## MD 編集機能の使いかた



## 文字を変更する

## 1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名るとき:  
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:  
停止ボタン(□)を押す。

## 2 ネームボタン (Name)を押す。

## 3 ◀▶ ボタン、または▶▶ ボタンで変更したい文字を点滅させる

## 4 マルチ / MD 選曲ツマミ(Multi Jog)を回して、入力したい文字を選ぶ。

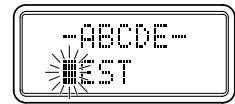
## 5 ネームボタン (Name)を押す。

## 曲名、ディスク名を消す

## 1 消したい名前を選ぶ。

- 曲名るとき:  
名前を消したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:  
停止ボタン(□)を押す。

## 2 ネームボタン (Name)を押す。



## 3 メニュー / 取消ボタン (Menu/No)を押す。

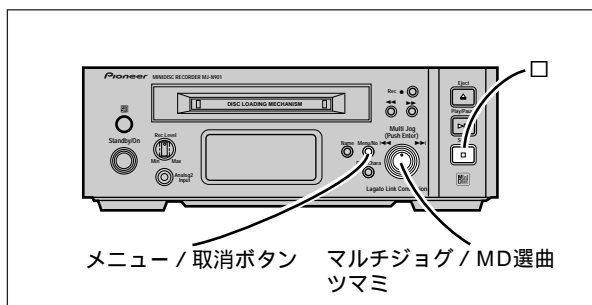


メニュー / 取消ボタン (Menu/No)を押すたびに、文字が消えます。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(□)を押してください。



## MD 編集機能の使いかた



## 編集をキャンセルして編集前の状態に戻す (アンドゥ : UNDO)

編集を行った後で、1つ前の編集をキャンセルすることができます。

### アンドゥでキャンセルできる編集の種類

- ムーブ
- プログラムムーブ
- デバインド
- コンバイン
- A-B コンバイン
- トラックイレース
- A-B イレース
- オールイレース
- ネームの入力、変更、消去  
(停止中に操作したネームのみ)

### アンドゥでキャンセルできなくなる条件

次の操作を行うと1つ前の編集のキャンセルはできなくなります。

このとき、<sup>キャン</sup> "Can't UNDO" と<sup>アンドゥ</sup> 表示されます。

- MD 取出しを行ったとき (UTOC の書換えを実行)
- 電源を切ったとき (UTOC の書換えを実行)
- 停電したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき
- オーバライト録音開始前の録音一時停止中に停止ボタン (□) を押したとき

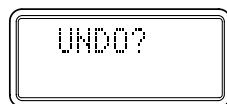
- 1 停止ボタン(□)を押す。
- 2 メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押す。



- 3 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を回して "UNDO" を選ぶ。



- 4 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。



アンドゥして良いかを  
確認する表示です。

- 5 マルチジョグ / MD 選曲ツマミ (Multi Jog) を押す。

"EDIT OK" と表示が出て、編集をキャンセルします。

中止したいときは、メニュー / 取消ボタン (Menu/No) を押してください。

## ネームリスト一覧

ネームリストを選んだときの表示は下記ようになります。

固定表示（7文字分）を1秒間

8文字以上のネームならスクロールする

スクロール終了なら固定表示（7文字分）をする

ネームリスト一覧（アルファベット順）

A
Air Check
American
B
Bass
Best Of
Big Band
Blues
British
C
Chart
Children's
Chorus
Classical
Copy
D
Dance
Disco
Drums
E
Electronic
European
F
Favorite
Festival
Flute
Folk
Freestyle
Funk
G
German
Guitar

H
Hard Rock
Harmonica
Hip Hop
Hit Songs
House
I
Important
Industrial
J
J-pop
Japanese
Jazz
K
Keyboard
M
Master
Metal
Modern
Music
N
New Age
New Wave
No.
Noise
O
Oldies

## MD 編集機能の使いかた

## P

Piano  
Pop  
Private  
Punk

## R

Rap  
Rave  
Recorder  
Reggae  
Remix  
Rock

## S

Session  
Single  
Soft Rock  
Solo  
Soul  
Special  
Studio  
Super  
Swing

## T

Techno  
Top  
Trip Hop

## U

Urban

## Y

Version  
Very  
Violin  
Vocal

## W

World Music

## カタカナ

アコースティック  
アナログ  
アルバム  
アーティスト  
インストゥルメンタル  
エアチェック  
オキニイリ  
オムニバス  
オリジナル  
オーケストラ  
カラオケ  
クラブ  
コレクション  
コンサート  
サウンドトラック  
シークレット  
ディスク  
デジタル  
トラディショナル  
バンド  
フュージョン  
ヘンシュウ  
ベストヒット  
ミュージック  
ライブ  
リズム&ブルース  
ワタシノ

## MDのネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット A B C D E F G H I J K L M

(大文字) N O P Q R S T U V W X Y Z

. , / □

アルファベット a b c d e f g h i j k l m

(小文字) n o p q r s t u v w x y z

. , / □

数字・記号 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " #

\$ % & ' ( ) \* + , - . / :

; < = > ? @ \_ ` □

カタカナ ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス

セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ノ ネ ノ ハ

ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヲ ヱ ヲ ヱ

リ ル レ ロ ワ ヲ ヱ ア イ ウ エ オ ヲ

ヨ ヱ ヲ ヱ (濁点) □ (半濁点) □ (長音)

□ (空白スペース)

# アセス 自動編集録音 (A.S.E.S.) のしかた

アセス オート シンクロ エディティング システム  
 A.S.E.S.とは、Auto Synchro Editing Systemのことで、CDをMDやテープ、MDをテープ、テープをMDへ自動編集録音する機能です。本機では再生順、またはプログラム再生順に録音します。テープへの録音時に、曲の途中でA面の録音が終わったときは、その曲はB面のはじめから録音されません。

注意!!

- 誤消去防止ツメの折ってあるカセットテープを入れた場合は、A.S.E.S.はできません。
- 再生専用のMDに録音しようとした場合、または録再生専用MDであっても誤消去防止つまみが開いているMDに録音しようとしてもA.S.E.S.はできません。
- A.S.E.S.動作時、テープの終わり近くで次の曲に移ったり、CDが演奏を終えると、動作が中断したり、正しく動作しない場合があります。このときは、その曲以降をA.S.E.S.を使わないで録音してください。

A.S.E.S.を行うときは、CD、MD、カセットデッキを下表のように設定してください

録音のしかた	アンプの入力切換位置	CDチューナー	MDレコーダー	カセットデッキ
CD MD	CD	ディスクを入れる	録音用MDを入れる	—————
CD TAPE	CD	ディスクを入れる	—————	録音用テープを入れる
CD MD + TAPE	CD	ディスクを入れる	録音用MDを入れる	録音用テープを入れる
MD TAPE	MD	—————	再生用MDを入れる	録音用テープを入れる
TAPE MD	TAPE	—————	録音用MDを入れる	再生用テープを入れる

## アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた

### 3 演奏する機器を設定する。

#### CDを録音するとき

- ① CDを入れる。
- ② 停止ボタン(□)を押して停止する。
- ③ 1曲のみアセスする場合は、選局 / CD 選曲ツマミ ( Tuning ) で開始曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

#### MDを録音するとき

- ① MDを入れる。
- ② 停止ボタン(□)を押して停止する。
- ③ 1曲のみアセスする場合は、マルチ / MD 選曲ツマミ ( Multi Jog ) で開始曲を選ぶ。

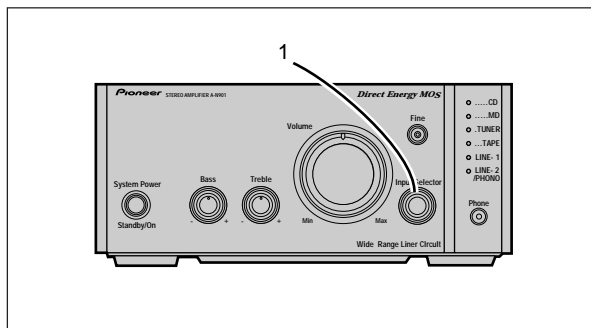
プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

#### テープを録音するとき

再生をはじめめる位置を探して停止させる。



- アセス中はアンプの入力は切換えられません。
- デジタルコピー済のCD-RをMDへデジタルアセスすることはできません。
- アセス中には、再生、録音機器のディスクやテープは取り出すことはできません。
- アセスを開始すると、再生側のリピートを解除します。



## 操作のしかた

### 1 アンプで演奏する機器を選ぶ。

60 ページの表を参照してください。

### 2 録音する機器を設定する。

#### MDに録音するとき

( CD、TAPE からの録音 )

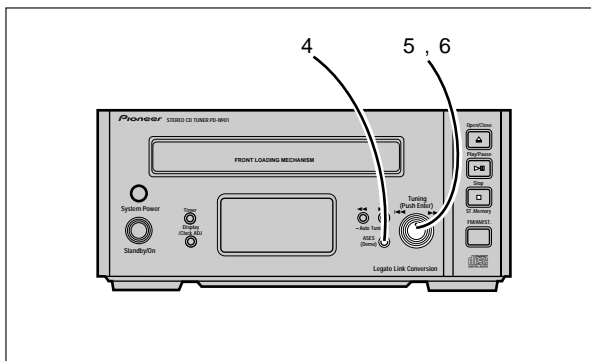
- ① 録音可能な MD を入れる。
- ② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する ( P.42 )。
- ③ CD を録音する場合にはデジタル録音かアナログ録音かを選択する ( P.37 )。  
CD を MD と TAPE に同時に録音するパラレル A.S.E.S. では、強制的にデジタル 1 に切り換わります。
- ④ アナログ録音のときは、オートマークを行うか、行わないかを選択する ( P.43 )。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する ( P.38 )。

#### テープに録音するとき

( CD、MD からの録音 )

- ① 録音可能なテープを入れる。
- ② ドルビー NR を選択する。
- ③ リバースモードを選択する。  
アセスではフォワード方向(▶)から録音をはじめます。
- ④ 録音レベルを調整します。

## アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた



### 4 アセスボタンを押す。



演奏側と録音側の機器を表示します。

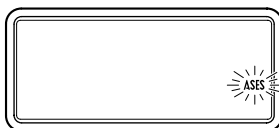
☒はCDからMDへのアセスです。

### 5 CDを録音する場合は、選局/CD選曲ツマミ(Tuning)を回して録音する機器を選ぶ。

MD、TAPEまたはMD+TAPEが選べます。



### 6 選局/CD選曲ツマミ(Tuning)を押す。



アセスをはじめます。

#### アセスでの録音を中止したいとき

演奏側、録音側いずれかの停止ボタン(□)を押します。パラレルアセスの場合は、CDチューナーの停止ボタン(□)を押します。

#### アセスの設定を中止したいとき

アセスボタンを押します。

## アセス エラー ASES ERRORの表示が出たときは

再生側、録音側の機器がアセス可能な状態でないときに"ASES ERROR"という表示をします。

以下の項目を調べてみてください。

- ① CD、MD、テープは入っていますか？
- ② 誤消去防止ツメの折れたテープを録音用に使っていませんか？  
⇒ 別のテープを使うか、誤消去防止ツメを折った穴をテープでふさいでください。
- ③ 誤消去防止状態(誤消去防止つまみが開いている)のMDを録音用に使っていませんか？  
⇒ 別のMDを使うか、つまみを閉じてください。
- ④ 再生用MDを録音用に使っていませんか？  
⇒ 録音用MDを使う。
- ⑤ アンプの入力がTUNERやLINE-1、LINE-2になっていませんか？  
⇒ 演奏する機器に合わせて正しく設定してください。
- ⑥ 演奏、録音する機器は停止状態になっていませんか？  
⇒ 停止ボタンを押して停止させてください。

## レコ タイム エラー REC TIME ERROR表示が出たときは

CDからMDへのアセスを開始したときに、CDの演奏時間がMDの録音残量時間を超えている場合には、CDチューナーに"RECTIME OVER"という表示をします。

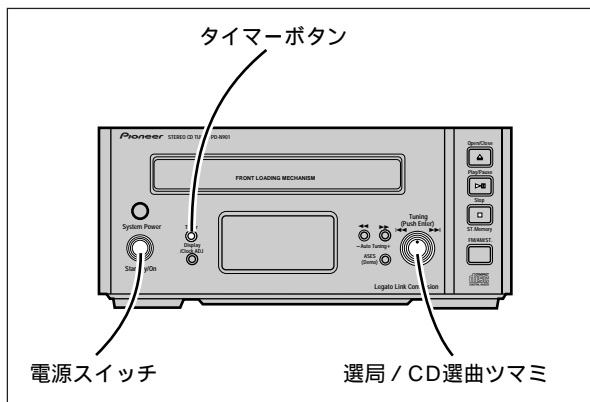
- ① 録音用のMDを取り換えるか、編集で曲をイレースしてからアセスをやりなおしてください。
- ② CDの録音が途中で切れても良い場合は、選局/CD選曲ツマミ(Tuning)を押してください。そのままアセスします。



- MDのモノラル録音でのアセス時は、録音時間警告表示は行いません。

# タイマーの使いかた

時計を合わせていないとタイマーが使えません。  
必ず時計合わせをしてください。P.22



## 好きな音楽で目覚める (ウェイクアップタイマー)

ウェイクアップタイマーは毎日動作します。  
タイマー設定時の演奏機器を記憶し、その内容で演奏をはじめます。

### “まずはじめに”

再生したい演奏機器にして準備をする。

CD : ディスクをセットしておきます。

チューナー : 聞きたい放送局に合わせてください。  
タイマー設定時の放送局が記憶されます。

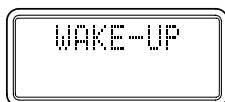
テープ : カセットテープをセットしておきます。  
前に再生していた方向からはじまります。

MD : ディスクをセットしておきます。

外部入力 : 接続している外部機器を、タイマー開始時に演奏するように設定しておきます。

(例) 午前7時30分にタイマーオンし、午前9時15分にタイマーオフするように設定する場合。

### 1 タイマーボタンを押す。



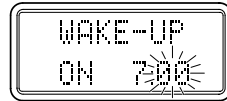
### 2 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を押す。



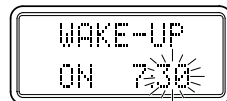
### 3 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を回して“7時”にする。



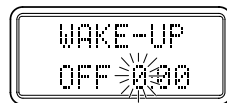
### 4 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を押す。



### 5 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を回して“7時30分”にする。



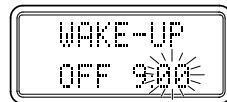
### 6 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)押す。



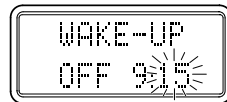
### 7 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)回して“9時”にする。



### 8 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)押す。



### 9 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を回して“9時15分”にする。



### 10 選局 / CD 選曲つまみ(Tuning)を押す。

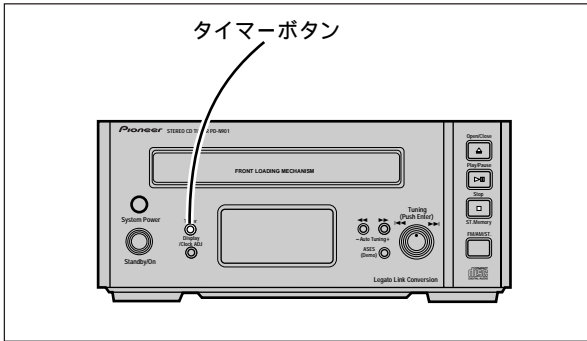
チェックモードになります。  
開始時刻、終了時刻、入力切換を表示します。

Ⓛが点灯します。

### 11 アンプで音量を調整する。

### 12 電源を切る。

## タイマーの使いかた



< タイマー動作をしないようにするには >  
電源オフのときにタイマーボタンを押して“TIMER OFF”を選びます。



ボタンを押すたびに次のように切り替わります。



ウェイクアップタイマーおよびタイマー録音はタイマー設定が設定されてないと選べません。

タイマー演奏が始まってからTIMER OFFにしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

電源がオフのときに、タイマーボタンを押して“WAKE-UP CHECK”を選びます。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

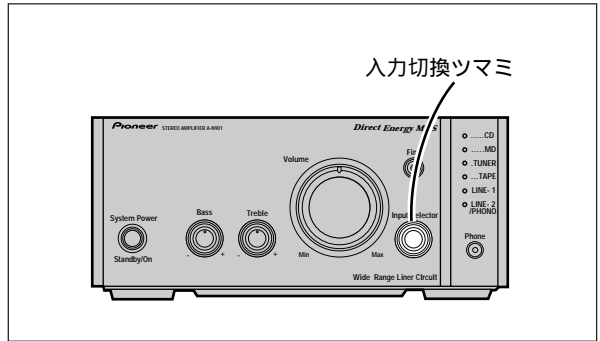
タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。



ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。

**注意!!**

- ウェイクアップタイマーと録音タイマーとの併用はできません。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。



## ラジオ放送または外部入力を留守録音する(タイマー録音)

録音タイマーは設定した1回だけ動作します。

“まずはじめに”

録音したい演奏機器にして準備をする。

チューナー : 録音したい放送局に合わせてください。タイマー設定時の放送局が記憶されます。

MD : MDの外部入力端子(デジタル2またはアナログ2)に接続した外部機器を、タイマー開始時刻に演奏するようにします。

外部入力 : タイマー録音開始時刻前に外部機器が演奏されるように準備します。

(例) 午後8時30分から午後9時15分までラジオ放送をMDに録音する場合

### 1 録音する機器を設定する。

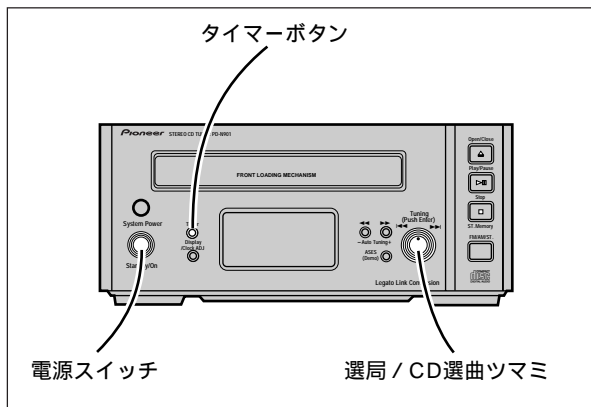
MDに録音するとき

- ① 録音可能なMDを入れる。
- ② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する( P.42 )。
- ③ MD入力で外部入力を録音するときは、デジタル2録音かアナログ2録音かを選択する( P.37 )。ラジオ放送およびライン1、ライン2の録音はアナログ1録音となります。
- ④ オートマークを行うか、行わないかを選択する( P.43 )。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する( P.38 )

次ページへ続きます。



## タイマーの使いかた



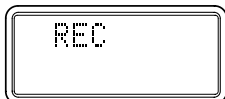
### テープに録音するとき

- ① 録音可能なテープを入れる。
- ② ドルビー NR を選択する。
- ④ 録音レベルを調整する。
- ③ リバースモードを選択する。  
前に再生していた方向からはじまります。

### 2 タイマーボタンを押す。



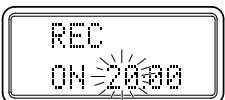
### 3 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して “TIMER REC” を選ぶ。



### 4 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。



### 5 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して “20時” にする。



### 6 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。



### 7 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して “20時30分” にする。



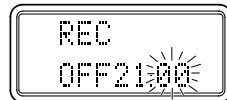
### 8 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。



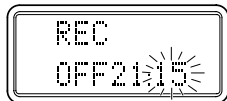
### 9 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して “21時” にする。



### 10 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。

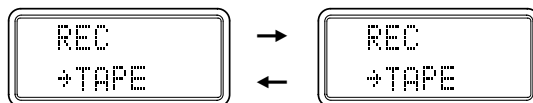


### 11 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して “21時15分” にする。



### 12 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。

### 13 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を回して録音機器を選ぶ。



(例)の場合はMDになっていますのでツマミを回す必要はありません。テープに録音するときは"TAPE"を選びます。

### 14 選局 / CD 選曲ツマミ(Tuning)を押す。

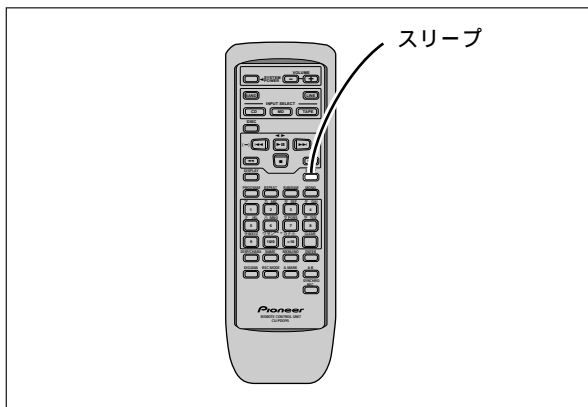
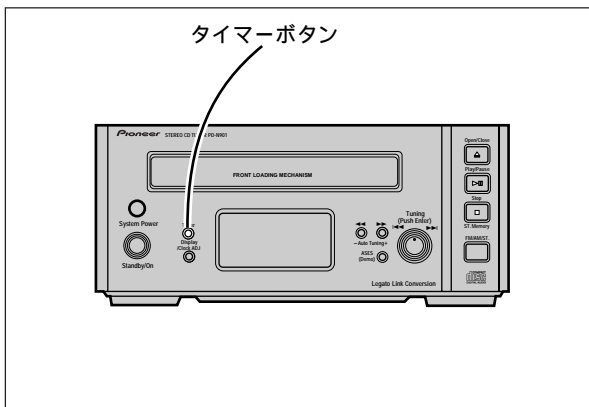
チェックモードになります。  
開始時刻、終了時刻、入力切換(放送のときは受信放送局)、録音機器を表示します。

⓪ REC が点灯します。

### 15 アンプで音量を最小にする。

### 16 電源を切る。

## タイマーの使いかた



### < タイマー動作をしないようにするには >

電源オフのときタイマーボタンを押して“TIMER OFF”を選びます。



ボタンを押すたびに次のように切替わります。



WAKE-UP CHECKはウェイクアップタイマーを設定した場合に選べます。

タイマー録音が始まってからTIMER OFFにしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

### < 再度タイマー動作をさせたいときは >

電源オフのときに、タイマーボタンを押して“REC CHECK”を選びます。同じ設定内容でタイマー録音できます。

### < タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

### < タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

### < 設定操作中に内容をまちがえたときは >

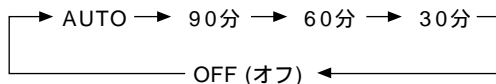
タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。

- 注意!!**
- タイマー録音時は音量は最小にしてください。
  - タイマー録音とウェイクアップタイマーとの併用はできません。
  - タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

### 音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

スリープボタン(SLEEP)を押す。



AUTO (オートスリープ):

CD、MD、テープの再生中またはMD、テープの録音中に選べます。再生または録音が終わると数分後に電源が切れます。



- CDあるいはMDのリピート演奏中、およびテープの両面繰り返し中はオートスリープは選べません。
- タイマー動作(ウェイクアップ/録音)中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。



- スリープタイマー中にスリープボタン(SLEEP)を押すと、残り時間を表示します。

### < スリープタイマーを中止したいときは >

- 電源をオフにする
- スリープボタン(SLEEP)を押してスリープオフを選ぶ。

# 日ごろのお手入れ

## CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

## 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

## 音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに関心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

- 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

# 故障？ちょっと調べてください

- 故障かな...?と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスセンターまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症 状	原因と思われること	処 置
全てに共通	音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグがはずれている。</li> <li>● すべてのコードが完全に接続されていない。</li> <li>● 入力切換が正しく選択されていない。</li> <li>● デモモードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを正しく接続する。</li> <li>● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。</li> <li>● 聞きたい機器を選択する。</li> <li>● デモモードを解除する。(裏表紙)</li> </ul>
	正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを差したままシステム接続コードを抜き差しした。</li> <li>● システム接続コードが正しく接続されていない。</li> <li>● ピンプラグ付接続コードが正しく接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを一度抜いて、差しなおす。</li> <li>● システム接続コードを正しく接続する。</li> <li>● ピンプラグ付接続コードを正しく接続する。</li> </ul>
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの裏表を逆にセットしている。</li> <li>● ディスクに汚れやくもりなどがある。</li> <li>● ディスクに大きなキズやソリなどがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上側にし、正しくセットする。</li> <li>● ディスクをクリーニングする。</li> <li>● ディスクを交換する。</li> </ul>
	E-1と表示部に出た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDメカに異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トレイを開けてから、もう一度再生させる。</li> <li>● 電源コードを入れ直す。</li> </ul>
	E-2と表示部に出た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDディスクトレイに異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクトレイ上に異物が無いか確認してください。</li> <li>● Open/Closeボタンを押す。</li> </ul>
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナが接続されていない。</li> <li>● アンテナの向き、位置が悪い。</li> <li>● 電気器具(蛍光灯、ドライヤーなど)を使用している。</li> <li>● ステップ周波数が合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナを正しく接続する。</li> <li>● アンテナの向きや位置を調整する。</li> <li>● 雑音を発生させる機器の使用をやめるか、アンテナを離す。</li> <li>● ステップ周波数を合わせる。 <a href="#">P.26</a></li> </ul>
	FM放送がステレオなのにステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示部のモノインジケーターが点灯している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モノボタンを押してモノインジケーターを消灯する。 <a href="#">P.25</a></li> </ul>

## 故障？ちょっと調べてください

	症 状	原因と思われること	処 置
M D 関 係	録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD が誤消去防止状態になっている。</li> <li>● 再生専用 MD を入れている。</li> <li>● TOCがいっぱいになっている。(録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止つまみを閉じる。</li> <li>● MD を入れかえる。</li> <li>● 全曲消去を行えば新たに録音できます。</li> </ul>
	モノラルで録音されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モノラル長時間モードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音モードをステレオモードにする <a href="#">P.42</a></li> </ul>
	MDを入れても“NO DISC”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD を入れかえる。</li> </ul>
	音がとぎれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD レコーダーが結露している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 時間程待つてから再生する。</li> </ul>
	短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> </ul>
	録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最小録音単位が 2 秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているのでは合わないことがある。</li> <li>● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● MD を入れかえる。</li> </ul>
	コンバイン、A-Bコンバイン編集で曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。</li> <li>● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。</li> <li>● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなごうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。</li> <li>● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲はつなげません。</li> </ul>

\* MD に関する表示については 35 ~ 36 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

そ の 他	タイマーが動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在時刻の設定がされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在時刻を設定する。</li> </ul>
	リモコンがきかない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの電池がなくなっている。</li> <li>● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい電池に換える。</li> <li>● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。</li> </ul>
	デッキ、CDチューナー、MDレコ-ダ-の電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● システムケーブルの接続が不完全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確実に接続する。</li> </ul>

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

# 仕様

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## ステレオアンプ：A-N701、A-N901

### アンプ部

実用最大出力 (EIAJ)..... 20W + 20W(4Ω)

### 定格出力

..... 18W + 18w(20Hz ~ 20kHz、歪率 1%、4Ω)

### 入力端子 (感度 / 入力インピーダンス)

..... PHONO (MM) 2.8mV / 47kΩ(A-N901のみ)

..... CD: 400mV / 22kΩ

..... MD: 320mV / 27kΩ

..... LINE、TUNER、TAPE: 200mV / 22kΩ

### 出力端子 (レベル / 出力インピーダンス)

..... TAPE、MD: 200mV / 2.2kΩ

システム接続端子 ..... × 1

### 周波数特性

..... PHONO (MM): 20Hz ~ 20kHz ± 0.5dB  
(A-N901のみ)

..... CD、LINE、MD、TUNER: 3Hz ~ 150kHz  $\pm \frac{0}{3}$ dB

トーンコントロール ..... BASS: ± 8dB(100Hz)

..... TREBLE: ± 8dB(20kHz)

### ラウドネスコンター (ファインモード)

.. + 6dB(100Hz)、+ 4dB(10kHz) VOL at - 20dB

### SN比 (IHF A ネットワーク、ショートサーキット)

..... PHONO (MM): 86dB(at 2.8mV)

..... CD、LINE、MD、TUNER: 100dB

スピーカー負荷インピーダンス ..... 4 ~ 16Ω

電源電圧 ..... AC100V、50/60Hz

消費電力 (電気用品取締法)..... 45W

スタンバイ時消費電力 ..... 1.1W \*

AC アウトレット ... 電源スイッチ連動 × 1 (最大 100W)

外形寸法 ..... 212(幅) × 95(高さ) × 307(奥行)mm

質量 ..... 3.8kg

\* システム接続した場合、各機器を合計してもスタンバイ時消費電力は 1.5W になるように設計されています。

## ステレオCDチューナー: PD-N901

### CD部

型式 ..... コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク ..... コンパクトディスク

周波数特性 ..... 4Hz ~ 20kHz

SN比 (EIAJ) ..... 102dB (EIAJ)

ダイナミックレンジ (EIAJ) ..... 96dB

全高調波歪率 (EIAJ) ..... 0.004% 以下

チャンネルセパレーション (EIAJ) ..... 94dB 以上

ワウフラッター ..... 測定限界以下

アナログ出力端子 ..... RCA ピンジャック

出力レベル / 出力インピーダンス ..... 1.9V / 1kΩ

デジタル出力端子 (光) ..... 1 系統

### FM チューナー部

受信周波数 ..... 76.0 ~ 108MHz

実用感度 (モノラル) ..... 1.5V / 75Ω

SN比 モノラル ..... 73dB

ステレオ ..... 68dB

ステレオセパレーション 1kHz ..... 45dB

100Hz ~ 10kHz ..... 33dB

出力端子 ..... RCA ピンジャック

出力レベル / 出力インピーダンス ..... 0.7V / 2.3kΩ

アンテナ ..... 75Ω 不平衡型

### AM チューナー部

受信周波数 ..... 522kHz ~ 1,629kHz (9kHz ステップ)

..... 530kHz ~ 1,700kHz (10kHz ステップ)

SN比 ..... 51dB

アンテナ ..... ループアンテナ (付属)

### 電源部・その他

電源電圧 ..... AC100V、50/60Hz

消費電力 (電気用品取締法) ..... 11W

スタンバイ時消費電力 ..... 2.7W \*

AC アウトレット ..... 非連動 (最大 100W) × 1

システム接続端子 ..... × 2

外形寸法 ..... 212(幅) × 95(高さ) × 287(奥行)mm

質量 ..... 2.5kg

## 仕様

### ミニディスクレコーダー：MJ-N901

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生方式	非接触光学式
サンプリング周波数	44.1 kHz
再生周波数特性	8 Hz ~ 20 kHz
再生 SN 比 (EIAJ)	101 dB
ワウフラッター (EIAJ)	測定限界以下
録音入力端子	RCA ピンジャック
基準入力レベル / 入力インピーダンス	500mV / 22kΩ
再生出力端子	RCA ピンジャック
基準出力レベル / 出力インピーダンス	500mV / 1kΩ
デジタル入力端子 (光)	× 2
デジタル出力端子 (光)	× 1
システム接続端子	× 1
アナログ 2 入力端子	ステレオミニジャック
基本入力レベル / 入力インピーダンス	500mV / 22kΩ
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	15W
スタンバイ時消費電力	2.7W
外形寸法	212(幅)×75(高さ)×282(奥行)mm
質量	2.4kg

### スピーカーシステム：

#### S-N901-LR

型式	16cm3wayブックシェルフ型、防磁設計 (EIAJ)
使用スピーカー (3 ウェイ方式)	
低音用 (ウーファー)	16cm (コーン型)
中音用 (ミッドレンジ)	3.5cm (ドーム型)
高音用 (トゥイーター)	2.5cm (ドーム型)
公称インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	35 ~ 60,000Hz
最大入力	100W (EIAJ)
外形寸法	210(幅)×340(高さ)×312(奥行)mm
質量	7.9kg

#### S-N701-LR

型式	13cm2wayブックシェルフ型、防磁設計 (EIAJ)
使用スピーカー (2 ウェイ方式)	
低音用 (ウーファー)	13cm (コーン型)
高音用 (トゥイーター)	2.5cm (ドーム型)
公称インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	40 ~ 60,000Hz
最大入力	80W (EIAJ)
外形寸法	170(幅)×265(高さ)×250(奥行)mm
質量	3.5kg

\* \* 「防磁設計 (EIAJ)」とは、(社)日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

### 付属品

保証書	× 1
取扱説明書	× 1
安全上のご注意	× 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	× 1
FM アンテナ	× 1
AM ループアンテナ	× 1
リモコン	× 1
単 3 形乾電池 (R6P)	× 2
スピーカーコード (スピーカーに付属)	× 2
光ファイバーケーブル(X-NT9MD、X-NT7MD)	× 1
システム接続コード (X-NT9MD、X-NT7MD)	× 2
(X-NT9、X-NT7、APX-N901、APX-N701)	× 1
ピンプラグ付接続コード (X-NT9MD、X-NT7MD)	× 4
(X-NT9、X-NT7、APX-901、APX-N701)	× 2
電源コード (X-NT9MD、X-NT7MD)	× 3
(X-NT9、X-NT7、APX-N901、APX-N701)	× 2

準  
備

基  
本  
操  
作

M  
D  
編  
集

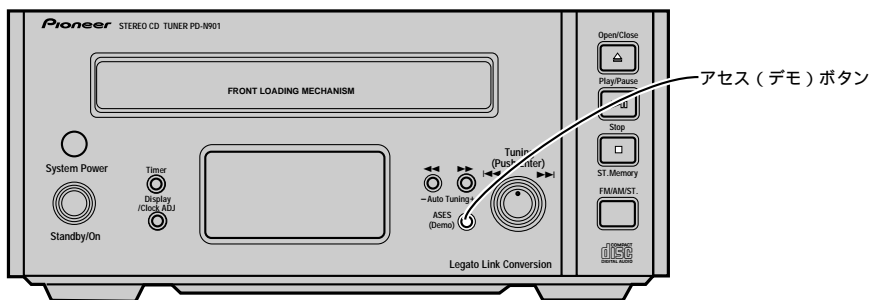
応  
用  
操  
作

そ  
の  
他



## デモ表示について

- 初期状態では、電源コンセントを入れるとデモ表示になります。以後、自動的にデモ表示を解除するには、デモ表示中にASES(DEMO)ボタンを約3秒間押し続けてください。
- 電源プラグをコンセントに接続したときにデモ表示に入らないようにするには、デモ表示中にASES(DEMO)ボタンを約3秒間押しつけて電源をオフにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続するとデモ表示になり電源オンになります。電源オフのときにASES(DEMO)ボタンを約3秒間押しつけても、デモ表示になり電源オンになります。
- デモ表示を解除するには、SYSTEM POWERボタンあるいはリモコンの電源オンに関するボタン( P.23 )または、本機のASES(DEMO)ボタンを約3秒間押し続けてください。



お客様ご相談窓口( 全国共通フリーフォン )

### お客様相談センター

カー stereo / カーナビゲーション製品に関するお問合せ窓口 **☎0070-800-818111**

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問合せ窓口 **☎0070-800-818122**

カタログのご請求に関する窓口 **☎0070-800-818133**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。  
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

### 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。